

FILE No. 13

女性・児童部

1 / 3

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#) にあります。  
 ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
児童課	366	女性児童部一般管理
	368(1)	児童扶養手当事務
	369	休養ホーム
	370	親子観劇会
	371	ホームヘルパー派遣
	372	医療費助成
	378	乳幼児医療費助成
	387	児童手当
	388	児童育成手当（育成手当）
	430	保育園改修（高円寺南保育園）
	431	児童館改築（荻窪北児童館）
	432	児童館改築（桃井児童館）
	保育課	367
373		保育室運営
374		家庭福祉員
375		隣人預託
376		緊急一時保育
377		区内私立保育所に対する運営加算
379		少子化対策臨時特例交付金事業（駅前保育所設置助成）
380		少子化対策臨時特例交付金事業（私立保育園少子化対策助成）
381		少子化対策臨時特例交付金事業（無認可保育室緊急設備整備助成）
382		少子化対策臨時特例交付金事業（家庭福祉員緊急設備整備助成）
389		区内私立・区外公私立民営保育所に対する国・都運営委託
392		保育園維持運営
393		一般保育運営
394		障害児保育
395		延長保育
396		産休明け保育

次頁

次々頁

保育課つづき / 女性・青少年課

児童青少年センター

FILE No. 13

女性・児童部

2 / 3

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#)にあります。  
 ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
保育課	397	緊急一時保育
	398	園外保育実施
	399	保育園給食運営
	400	子育て支援事業
	401	ファミリー・サポート・センター
女性・青少年課	418	施設維持管理
	419	企画運営委員会
	420	パートタイマー報酬、図書・資料購入
	421	ニュースの発行
	422	セミナー開催
	423	女性問題啓発講座
	424	リーダー養成
	425	ネットワークづくり
	426	区民企画事業
	427	人材リスト
	428	相談
	429	自立支援
	433	情報誌の発行
	434	職員啓発
	435	調査研究
	436	男女共同参画の推進
	437	青少年問題協議会
	438	「青少年健全育成運動」推進活動
	439	育成活動
	440	成人祝賀
441	洋上セミナー	
442	ボーイスカウト・ガールスカウト開催分担金	

次頁

前頁

児童青少年センター

児童課 / 保育課 Top

FILE No. 13

女性・児童部

3 / 3

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#)にあります。  
ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
児童青少年センター	383	浜田山第二学童クラブ設置
	402	児童青少年センター施設維持管理及び運営
	403	ボランティア活動運営
	404	小菅村交流キャンプ
	405	ニュースポーツ大会等運営
	406	児童青少年センター事業
	408	子ども家庭支援センター事業
	411	青少年社会参加活動推進事業
	412	国内交流事業
	413	児童館維持管理及び運営
	414	児童館事業
	415	母親クラブ活動助成費
	416	学童クラブ施設維持管理及び運営
	417	学童クラブ事業
	443	児童館改修

[前頁](#)[保育課つづき / 女性・青少年課](#)[前々頁](#)[児童課 / 保育課 Top](#)

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	女性・児童部一般管理	整理番号	366
-----------	------------	------	-----

所属名	女性・児童部児童課庶務係	コード	130101	上位施策名(コード)
予算事務事業名	* この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
女性・児童部一般管理	コード	35800		

事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成	年度	杉並区組織条例
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 女性・児童部職員			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	職員の旅費、標準事務費及び部の管理運営に関する事務。			
	活動指標名	旅費支給人数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	職員の仕事が円滑に行われるよう、必要なものを整える。			
成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか スムーズな事務処理環境を実現する。					

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
			計画	実績			

指標	活動指標	人	延べ5254	対象者123	延べ5365	対象者124		
	活動指標							
	成果指標							
	成果指標							

総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,795	11,889	10,192	8,988	特記事項	
	職員数(正規   非常勤)		人	0.63	0.63	0.63	0.63		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,694	5,694	5,694		5,694
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	16,489	17,583	15,886	14,682		
	単位あたりコスト		千円	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
		差引：一般財源		千円	16,489	17,583	15,886		14,682
	受益者負担比率		%						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	財務会計システムの導入、新人事システムの一部稼働により、OAが進みつつある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	旅費システムの稼働と手処理が多い庶務的事務をできるところからOA化することにより、全体の事務量減が見込まれる。端末等の増設を進めることが必要である。

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童扶養手当事務				整理番号	368(1)			
所属名	女性・児童部 児童課 児童福祉係	コード	130102		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		児童扶養手当事務		コード	36200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業						
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童扶養手当法 児童扶養手当法施行令						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 18歳未満(年度末まで)の児童を養育するひとり親家庭の母又は、養育者(前年所得、公的年金受給者等の制限あり)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	東京都が母子家庭等に手当を支給する事業で、認定請求書の受理・審査・東京都への進達・証書の交付事務を行う。		活動指標名 手当受給者数						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	対象家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、手当を支給することによって母子家庭等の経済的負担を軽減する。		成果指標名 (代) 現況届回収率 = 現況届回収数 ÷ 現況届発送数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 母子家庭等の経済的な負担を軽減することで、児童の心身の健やかな成長に寄与し、児童福祉の増進を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	2,045	1,950	2,102	2,100			
	活動指標									
	成果指標		%	83	100	84	100			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	840	838	886	903	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20	0.00	1.70	0.00		2.00	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,846	15,365	14,280		18,076	
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0	
	総事業費		千円	11,686	16,203	15,166	18,979			
	単位あたりコスト		千円	6	8	7	9			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0	
		その他特定財源		千円	858	838	891		903	
		差引:一般財源		千円	10,828	15,365	14,275		18,076	
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		離婚を事由とした受給者の増加傾向が見られる。平成10年8月より未婚の認知事項が撤廃された。制度開始から毎年所得制限の緩和が継続していたが、平成8年に申請者のみの見直しが行われた。平成10年8月に本人及び扶養義務者の所得制限が強化された。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		所得制限の緩和 申請から認定までの期間が長すぎる。就労者は休暇が取りにくいので現況届は郵送にしてほしい。同住所別世帯の扶養義務者の取り扱いについて改善要望がある。							
	今後の予測		申請事由で離婚・未婚が主流を占めている傾向にあり、今後も受給者の増加が予想される。平成14年8月に東京都から区へ事務委譲が予定されているため、受付事務に加え認定事務・支給事務等大幅な事務量の増加が予想できる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休養ホーム				整理番号	369		
所属名	女性・児童部 児童課 児童福祉係			コード	130102	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
ひとり親家庭援護		コード	36400						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区ひとり親家庭休養ホーム事業実施要綱					杉並区ひとり親家庭休養ホーム事業実施要領
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		ひとり親家庭の親と子(20歳未満)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	宿泊施設を指定し、一人年間三泊までの利用料を助成する。 (一泊につき6,500円)		活動指標名					休養ホームを利用した人数
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	ひとり親家庭の親子に休養の機会と場を提供することにより、児童の健全育成に必要なゆとりある生活環境を確保する。		成果指標名					(代)休養ホームを利用した人数
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか ひとり親家庭の休養にふさわしい宿泊施設を指定し、利用料金の一部を助成することによって、福祉の向上に寄与する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	828	960	787	760		
	活動指標								
	成果指標		人	828	960	787	760		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,349	6,404	5,100	5,094	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50   0.00	0.50   0.00	0.53   0.00	0.50   0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,519	4,519	4,790		4,519
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	9,868	10,923	9,890	9,613		
	単位あたりコスト		千円	12	11	13	13		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	0	0	0		0
		差引：一般財源		千円	9,868	10,923	9,890		9,613
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成7年4月：国民宿舎に加え国民休暇村も指定宿泊施設とした。平成9年度：助成限度額を6,500円とした。(年間3泊まで)						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		助成宿泊数の増、宿泊施設までの交通費助成の要望がある。						
	今後の予測								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		親子観劇会				整理番号		370		
所属名		女性・児童部 児童課 児童福祉係		コード	130102		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		ひとり親家庭援護		コード	36400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度				杉並区ひとり親家庭休養事業実施要領					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 義務教育終了前の児童を有するひとり親家庭の親と子で、児童育成手当受給世帯。養護施設入所者と引率者									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 観劇会にひとり親家庭の親と子、養護施設入所児童と引率者を招待する。				活動指標名 観劇会に参加した人数 招待状発送数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 休養を取り難いひとり親家庭の親と児童に健康的な行楽の機会を提供することにより、生活意欲を高める。				成果指標名 (代)観劇会への参加率 = 観劇会に参加した人数 ÷ 招待状を送った数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか ひとり親家庭の親と子を観劇会に招待することにより、児童の健全育成に寄与する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	461	2,600	497				
	活動指標		通	2,574	2,600	2,644				
	成果指標		%	18	100	19				
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,429	1,413	1,473				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.35   0.00	0.35   0.00	0.26   0.00		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,163	3,163	2,350	0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	4,592	4,576	3,823	0			
	単位あたりコスト		千円	10	2	8				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0			
		差引:一般財源		千円	4,592	4,576	3,823	0		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		親子観劇会参加者数の減少 (平成8年度 768名 平成10年度 461名)等により、平成11年度に事業のありかたを検討し、親子観劇会を廃止した。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測									

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ホームヘルパー派遣				整理番号	371				
所属名		女性・児童部 児童課 児童福祉係		コード	130102		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		ひとり親家庭援護		コード	36400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業実施要綱					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業実施要領					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			家事・育児等日常生活に支障をきたしている義務教育終了前の児童を養育しているひとり親家庭(所得により自己負担あり)		活動指標名					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			ホームヘルパーを派遣することにより、ひとり親家庭の家事・育児等の負担軽減を図り、養育環境を整備する。		対象となるひとり親家庭に、ホームヘルパーを月12回以内で午前7時から午後7時までの時間内に2時間・4時間・8時間単位で派遣する。 成果指標名 (代)ホームヘルプ派遣利用率 = ホームヘルプ派遣を受けた世帯数 ÷ ホームヘルプ派遣申請の登録者数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
ひとり親家庭の家事・育児等の負担を軽減し生活の安定を図ることにより、福祉の増進に寄与する。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標		回	3,519	3,780	2,252	2,960				
	活動指標		世帯	58	60	52	55				
	成果指標		%	88	100	93	100				
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,821	26,729	15,833	21,022				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.85	0.00	0.85	0.00	0.79	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,682	7,682	7,140	4,519			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	32,503	34,411	22,973	25,541				
	単位あたりコスト		千円	9	9	10	9				
	財源	受益者負担分		千円	573	447	724	307			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			
		差引:一般財源		千円	31,930	33,964	22,249	25,234			
受益者負担比率		%	1.8	1.3	3.2	1.2					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成9年4月に派遣基準を作成した。平成12年度に派遣基準の見直しを行った。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			派遣時間の延長・派遣回数の増加を希望							
	今後の予測			ひとり親家庭の増加に伴って、利用希望者も増えるものと予想される。							





# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳幼児医療費助成				整理番号	378		
所属名		女性・児童部 児童課 児童福祉係		コード	130102		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		乳幼児医療費助成		コード	37600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区乳幼児の医療費の助成に関する条例				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区乳幼児の医療費の助成に関する条例施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		乳幼児(6歳に達した日以後の最初の3月31日まで。)を養育する保護者(年齢により所得制限あり)		活動指標名				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医療費の助成を行うことによって家庭の経済的負担を軽減し、乳幼児の健やかな成長を図るための養育環境を整備する。		成果指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		乳幼児の健やかな成長を図るための養育環境を整備することによって、児童福祉の向上に寄与する。							
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		千円	501,539	629,603	581,455	645,638		
	活動指標		人	13,559	14,885	13,876	14,219		
	成果指標		千円	501,539	629,603	581,455	645,638		
	成果指標		%	122	100	125	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	576,300	716,501	667,760	741,095	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	5.50   0.00	5.00   0.00	5.26   0.00	4.00   0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	49,709	45,190	47,540		36,152
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	626,009	761,691	715,300	777,247		
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	82,501	105,708	104,009		97,554
		差引:一般財源		千円	543,508	655,983	611,291		679,693
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初は、東京都に先駆け3歳未満の乳幼児について、その保護者に所得制限を設定せずに本事業を開始した。平成10年10月から、所得制限を設け3歳に達した日の属する月の翌月の初日から就学前までの乳幼児を医療費助成の対象に加えた。平成12年10月から保護者の所得制限を5歳以上とし、入院時食事療養費標準負担額を自己負担とする。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		所得制限の廃止						
	今後の予測		過去の実績から、今後も医療費助成額の増加が予想される。所得制限の段階的廃止により、平成14年度まで受給者数の増加が見込まれる。国保連合会及び柔道整復師の事務取扱手数料・介助手数料が平成12年度から平成16年度までにかけて段階的に廃止される。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童手当			整理番号		387		
所属名		女性・児童部 児童課 児童福祉係		コード	130102		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		児童手当・児童育成手当支給		コード	38400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童手当法			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区児童手当支給要綱			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			国の基準に基づき第1子・第2子に5,000円、第3子以降に10,000円を支給する。		活動指標名			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			対象児童の健やかな成長を図るため養育環境を整備する。		成果指標名			
					(代)児童手当支給額				
					(代)現況届回収率 = 現況届の提出期限内回収数 ÷ 現況届発送数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
当該児童世帯の生活の安定と児童の健全な育成及び福祉の向上に寄与する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		千円	193,475	205,800	222,940	215,760		
	活動指標		人	3,107	2,925	3,476	3,135		
	成果指標		千円	193,475	205,800	222,940	215,760		
	成果指標		%	87	100	93	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	195,281	207,280	224,243	216,377		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.70	0.00	1.70	0.00	2.00	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,365	15,365	14,280	18,076	特記事項
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	210,646	222,645	238,523	234,453		
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	187,169	195,304	212,251	205,181	
		差引:一般財源		千円	23,477	27,341	26,272	29,272	
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			国の児童手当 平成11年6月の所得制限緩和により受給者が大幅に増加した。平成12年6月に対象年齢の拡大 杉並区児童手当 平成10年10月に国の制度を補完するため第3子以降を対象として新設 平成12年6月に国の制度拡大に伴い区の制度廃止(平成13年3月まで経過措置あり)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			所得制限を撤廃してほしい。 現年の手当支給に前年(申請月によっては前々年)の所得で受給資格を判定するのはおかしい。					
	今後の予測			平成12年度は国の制度拡大に伴ない受給者の倍増が予想される。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童育成手当（育成手当）				整理番号	388			
所属名		女性・児童部 児童課 児童福祉係		コード	130102		上位施策名（コード）			
予算事務事業名		児童手当・児童育成手当		コード	38400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 44 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区児童育成手当条例・同条例施行規則				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都児童育成手当条例・同条例施行規則				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			ひとり親家庭の父または母に児童一人につき月額13,500円の手当を支給する。		活動指標名 児童育成手当支給額 児童育成手当受給対象児童数				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			ひとり親家庭の経済的負担を軽減し対象児童の健やかな成長を図るため、養育環境を整備する。		成果指標名 (代) 児童育成手当支給額  (代) 現況届回収率 = 児童育成手当現況届の提出期限内回収数 ÷ 現況届発送数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、養育環境を整備することにより、児童福祉の向上に寄与する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		千円	515,652	531,360	533,358	538,488			
	活動指標		人	3,368	3,280	3,461	3,324			
	成果指標		千円	515,652	531,360	533,358	538,488			
	成果指標		%	92	100	94	100			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	516,603	532,418	534,269	538,945			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.20	0.00	1.20	0.00	1.05	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,846	10,846	9,490	9,038		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	527,449	543,264	543,759	547,983			
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0		
		差引：一般財源		千円	527,449	543,264	543,759	547,983		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成6年、7年、8年6月に手当額の引き上げ 平成6年、7年、9年、10年6月に所得制限の緩和 平成8年6月に認知条項の削除 平成10年6月に対象要件の変更(事実婚・施設入所) 平成12年6月に所得制限の強化						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測			離婚を事由とした受給者の増加が予想される。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育園改修（高円寺南保育園）				整理番号	430			
所属名		女性・児童部児童課庶務係		コード	130101		上位施策名（コード）			
予算事務事業名		保育園改修		コード	40170		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度		児童福祉法第35条、第45条、同法施行令第12条 児童福祉施設最低基準				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 高円寺南保育園に入園している、又は、今後入園する児童・保護者		建築物の耐震改修の促進に関する法律及び施行令、特定建築物の耐震診断及び耐震改修に関する指針				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			平成11年度に耐震補強・増築等に係る設計を行い、平成12年度に工事を実施する。		活動指標名			設計出来高 工事出来高	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			施設の耐震性能向上を図ると同時に、平成11年度から定員増を図った3歳児室の増築等、施設の拡充・改善を行うことにより保育環境の充実を図る。		成果指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
耐震補強による施設の耐震性能向上はもちろんのこと、併せて、施設の拡充と保育環境の改善を図る。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		%		100	100	100	100.0		
	活動指標		%			100	100	0.0		
	成果指標									
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	1,956	2,167	19,254	21,421	10.0	
	職員数（正規   非常勤）		人		0.30	0.30	0.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	2,711	2,711	2,711		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	0	4,667	4,878	21,965			
	単位あたりコスト		千円		47	49				
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0		
		その他特定財源		千円		0	0	19,254		
		差引：一般財源		千円	0	4,667	4,878	2,711		
受益者負担比率		%		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			高円寺南保育園を第一希望とする4月当初時点の入所申込者は、0～1歳児は毎年10人前後の申込があるが、3歳児についても平成10年以降増加している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			高円寺南保育園は、高円寺駅近傍という好立地から第一希望入所申込者が多いが、入所要望に答えきれていない。第二、第三希望園や周辺園への入所をお願いするなどにより対応しているが、待機児も発生している。						
	今後の予測			少子化が叫ばれる昨今であるが、全区的には0歳児からの保育ニーズが依然として高く、最近では1歳児からの入所希望者も増加傾向にある。更に、高円寺地域においては、3歳児からの保育ニーズも高く、今後も、この傾向はしばらく続くものと考えられる。しかし、今後の保育園改築事業において高円寺北保育園の改築を実現することにより、高円寺地域におけるこれらの保育ニーズの多くには対応できるものと考えられる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改築（荻窪北児童館）				整理番号	431		
所属名	女性・児童部児童課庶務係	コード	130101		上位施策名（コード）				
予算事務事業名	児童館改築				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
コード	40190								
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成 10 年度		根拠法令等					
	事業終期	○ 無 ● 有 平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第6条の2、第35条、第45条、同法施行令第1条 児童福祉施設最低基準 児童館の設置運営について（厚生事務次官通知）、他					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 児童館・学童クラブを利用する乳幼児・児童及び保護者、目的外利用により施設を利用する個人や団体							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	平成10年度から平成11年度で設計、工事開始時期は未定		活動指標名					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	狭隘（332㎡）な荻窪北児童館（荻窪北学童クラブ含む）を移転改築し、規模の拡充と中高校生対応設備等の充実を図るとともに、地域における児童館事業の中核となる児童館とする。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか <small>荻窪北児童館においても、上高井戸、桃井の両児童館が改築・拡充によって利用者数が大幅に伸びたような効果が現れると予測している。また、荻窪駅近くの好立地や中・高校生対応設備の充実等により、中・高校生の利用の増加や、幅広い年齢層を対象とした多様な児童健全育成事業の実施など、地域における児童健全育成事業の中核としての機能を果たす予定である。</small>									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	11年度		
指標	活動指標		40	60	60	0	100	100.0	
	活動指標								
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,790	15,678	15,097	0	15,097	100.0
	職員数（正規   非常勤）		人	0.41	0.78	0.40		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,706	7,050	3,615	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	5,496	22,728	18,712	0		
	単位あたりコスト		千円	137	379	312	#DIV/0!		
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円						
差引：一般財源		千円	5,496	22,728	18,712	0			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		建築基準法の改正や東京都建築安全条例の施行など、改築にあたっての法的な制約が増えてきている。また、学校選択制が検討されるなど、今後の児童館・学童クラブの配置・定員計画に影響を与える要素が生じてきているなか、既に、地域によっては多くの待機児童が存在する学童クラブが発生してきている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		現在の荻窪北児童館を利用している父母の方たちを中心に、設備や運営など幅広い分野に関して要望が出されている。しかし、その他の地域では待機児童の生ずる学童クラブがいくつか発生しており、これらの学童クラブでは待機児童の解消の要望が強い。また、乳幼児やその父母を主たる対象とした遊戯や交流の場の設置に対する要望がある。						
	今後の予測		最近の保育園入所児童の傾向として、3歳～5歳児の途中退園が少なくなっていることを踏まえると、今後、小学校入学後も引き続いて学童クラブへ通うことを希望する児童が増えていくと思われる。また、学校選択性が導入された場合、特定の小学校の対応学童クラブへの入所希望者が著しく増加することも予想され、今後の改築等にあたっては、簡易な方法で柔軟に学童クラブ室の拡張を図れるような配慮が求められると考える。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改築（桃井児童館）				整理番号	432			
所属名	女性・児童部児童課庶務係			コード	130101	上位施策名（コード）				
予算事務事業名		児童館改築		コード	40190	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		児童福祉法第6条の2、第35条、第45条、同法施行令第1条					児童福祉施設最低基準	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 児童館・学童クラブを利用する乳幼児・児童及び保護者、目的外利用により施設を利用する個人や団体		児童館の設置運営について（厚生事務次官通知）、他						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	平成9年度に用地取得及び設計を行い、平成10～11年度に建設（移転改築）工事を実施した。			活動指標名					工事出来高（建築工事ベース）
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	小規模・狭隘（約165㎡）かつ育成室（学童クラブ室）のない桃井児童館を移転改築（約600㎡）し、あわせて、桃井第一小学校内にあった「桃一学童クラブ」を改築後の児童館内に移転し定員増を図る。			成果指標名					開設後の1日平均利用者数（平成11年8月～11月） 平成10年度は旧施設での実績。また、平成11年度の旧施設での平均利用者数（4～7月）は47.76人であった。
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
小規模・狭隘な桃井児童館を規模を拡大して移転改築することにより、利用者数の増加を図り、より多くの児童の健全育成に寄与した。また、桃一学童クラブを児童館内に移転することにより、学童クラブ定員増と、児童館との一体運営による職員数の減を図った。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		%	37	63	63	0	100	100.0	
	活動指標									
	成果指標		人 / 開設日	39	100	122.12	120	100	122.1	
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	149,679	154,786	152,851	0	304,465	99.4	
	職員数（正規   非常勤）		人	0.41	0.77	0.60			特記事項 その他特定財源は「児童館整備費補助金（都費）」及び「特別区債」である。	
	人件費	職員分（超勤分含む）	千円	3,706	6,959	5,423	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	153,385	161,745	158,274	0			
	単位あたりコスト		千円	4,146	2,567	2,512	#DIV/0!			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
		その他特定財源	千円	121,119	121,477	118,997	0			
		差引：一般財源	千円	32,266	40,268	39,277	0			
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			建築基準法の改正や東京都建築安全条例の施行など、改築にあたっての法的な制約が増えてきている。また、学校選択制が検討されるなど、今後の児童館・学童クラブの配置・定員計画に影響を与える要素が生じてきているなか、既に、地域によっては多くの待機児童が存在する学童クラブが発生してきている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			地元説明会などでは、地元で児童健全育成に携わる住民の方や学童クラブ児童の保護者の方から、桃井児童館移転改築の早期実現を望む意見が出された。しかし、その他の地域では待機児童の生ずる学童クラブがいくつか発生しており、これらの学童クラブでは待機児童の解消の要望が強い。また、乳幼児やその父母を主たる対象とした遊戯や交流の場の設置に対する要望がある。						
	今後の予測			最近の保育園入所児童の傾向として、3歳～5歳児の途中退園が少なくなっていることを踏まえると、今後、小学校入学後も引き続いて学童クラブへ通うことを希望する児童が増えていくと思われる。また、学校選択性が導入された場合、特定の小学校の対応学童クラブへの入所希望者が著しく増加することも予想され、今後の改築等にあたっては、簡易な方法で柔軟に学童クラブ室の拡張を図れるような配慮が求められると考える。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童福祉関連事務(保育実施事務)				整理番号	367		
所属名	女性・児童部保育課入園相談係	コード	130203		上位施策名(コード)				
予算事務事業名					*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
保育実施事務	コード 10								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第24条					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区保育の実施に関する条例					
	保育所入所を希望する乳幼児			杉並区保育の実施に関する要綱					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名					
保育所入所の申し込みを受け付け、調査を経て、選考会議で入所児童を決定する。			入所児童数						
待機児童数									
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
保育に欠ける乳幼児のうち、保育所入所を希望する者の入所を実施する。			入所実施率 = 入所児童数 ÷ 申請者数						
			待機率 = 待機児童数 ÷ 入所児童数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
乳幼児の健やかな育成を図るとともに、待機児の解消を図る。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	54,430	56,700	55,648	56,748		
	活動指標		人	83	4,411	84	4,507		
	成果指標		%			78			
	成果指標		%			89			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,188	4,042	3,091	3,841		
	職員数(正規 非常勤)		人	11.92   0.00	11.15   0.00	11.15   0.00	11.15   0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	107,733	100,774	100,774	100,774		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	111,921	104,816	103,865	104,615		
	単位あたりコスト		千円	2	2	2	2		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0		
		差引:一般財源	千円	111,921	104,816	103,865	104,615		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			女性の社会進出、就業時間の変化等に伴い、保育需要は増大し、保育所に希望どおり入所できない待機児童が発生している。待機児童は年度後半(10/1)には年度当初の2倍程度に増加する。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			待機児童の解消、待機児童数の随時公開、入所予約制度の実施、兄弟姉妹の同一園における保育の実施					
	今後の予測			女性の社会進出、就業時間の変化等に伴い、今後も保育需要は増大するとともに、多様な保育ニーズへの対応が求められる。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育室運営				整理番号		373		
所属名		女性・児童部保育課指導係		コード		130204		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		保育室運営		コード		36600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 43 年度		根拠法令等				
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区保育室制度運営要綱				
	都・区の定める設置基準を満たした無認可保育施設(ただし杉並区外の施設については、杉並区民在籍施設のみ)。					杉並区管外保育室事業実施要綱				
	区市町村の行う保育室運営事業に対する都費補助要綱									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			都と区で入所児童数に応じた委託料を支払うとともに、区は、保育室経営の安定のため、欠員に応じて一定の補助を行う。		活動指標名					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			一定の保育水準を持つ無認可保育施設を待機児の解消に活用する。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか			保育環境の整備、児童の健全育成と待機児の解消、並びに保育室経営の安定に貢献している。		受託率 = 延受託児数 ÷ 延定員数					
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	822	868	840	860			
	活動指標		所	4	4	4	4			
	成果指標		%	90	95	92	94			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	65,246	70,704	65,961	75,547			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.31   0.30	0.30   0.30	0.30   0.30	0.31   0.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,802	2,711	2,711	2,802		
		非常勤職員分		千円	935	935	935	935		
	総事業費		千円	68,983	74,350	69,607	79,284			
	単位あたりコスト		千円	84	86	83	92			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円	32,540	34,851	32,800	36,803		
		差引:一般財源		千円	36,443	39,499	36,807	42,481		
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和55年4月1日現在 区内の保育室定員 12室 190人 平成10年4月1日から現在まで 区内の保育室定員 4室 76人							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		待機児解消に欠くことのできない事業であり、今後も補助を継続する必要がある。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家庭福祉員				整理番号		374			
所属名		女性・児童部保育課指導係		コード		130204		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		家庭福祉員		コード		36800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 40 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区家庭福祉員制度要綱					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区市町村が行なう家庭福祉員事業に対する都費補助金要綱					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			両親の就労等により昼間家庭で保育することができない乳幼児を家庭福祉員が自分の自宅で保護者に代わって保育をする。		活動指標名					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			家庭福祉員が家庭において保育を要する子どもを保育することにより児童福祉の向上を図る。		成果指標名					
					受託率 = 延受託児数 ÷ 延定員数  家庭福祉員の受託定数割合 = 家庭福祉員の受託定数 ÷ 保育園の0歳児、1歳児定数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
低年齢待機児の解消											
区分		単位	10年度実績	11年度				12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画		実績					計画
指標	活動指標		人	284	384	230	360				
	活動指標			12	13	10	11				
	成果指標		%	66	82	64	91				
	成果指標		%	37	41	31	34				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,492	39,386	24,408	35,491				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.32   0.20	0.30   0.20	0.30   0.20	0.31   0.20	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,892	2,711	2,711	2,802			
		非常勤職員分		千円	623	623	623	623			
	総事業費		千円	33,007	42,721	27,743	38,916				
	単位あたりコスト		千円	116	111	121	108				
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円	11,530	15,705	9,338	14,616			
		差引:一般財源		千円	21,477	27,016	18,405	24,300			
	受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			零歳児保育実施園の増加及び家庭福祉員の人員減により受託児数が減少、また家庭福祉員のなり手がなかなかいない。(昭和57年度 25人、平成11年度 10人)							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			家庭福祉員の数が少ないため、利用しにくい。							
	今後の予測			年度途中からの低年齢児の保育需要は、今後も継続する。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		隣人預託		整理番号		375			
所属名		女性・児童部保育課指導係		コード		130204			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		隣人預託		コード		37000			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 47 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度		杉並区保育手当支給要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		認可保育園入所不承諾通知を受取り、暫定的に隣人等に児童の保育を預託し、かつ一定の要件を満たした保護者。				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保護者からの申請に基づき、月額8000円(母子・父子世帯16000円)の保育手当を支給する。		活動指標名 保育手当延支給人数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		保護者負担の軽減を図るとともに児童の良好な保育環境を確保する。		成果指標名 支給率 = 保育手当延支給人数 ÷ 申請延人数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 保護者負担の軽減に貢献している。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		月	91	60	167			
	活動指標								
	成果指標		%	100	100	100			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	774	581	1,341			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	904	904	904	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	1,678	1,485	2,245	0		
	単位あたりコスト		千円	18	25	13			
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円						
差引:一般財源		千円	1,678	1,485	2,245	0			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区行財政改革推進計画において平成10年度限り廃止とされたが、実施計画事業「杉並区ファミリー・サポート・センター開設」のための予算が平成11年度当初予算に計上されなかったため、平成11年度は暫定的に存続した。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測		平成11年度をもって廃止する。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緊急一時保育				整理番号		376			
所属名		女性・児童部保育課指導係		コード		130204		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		緊急一時保育		コード		37200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 2 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区緊急一時保育事業実施要綱	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保護者の疾病、出産等により緊急に保護を必要とする児童								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		保護者の疾病、出産等により緊急に保護を必要とする児童をあらかじめ区長が認定した緊急一時奉仕員が保育する。		活動指標名					延受託日数 緊急一時奉仕員数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		家族の負担を軽減するとともに、児童の良好な生活環境を確保する。		成果指標名						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 児童の健全育成に貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		日	5	100	12	60				
	活動指標		人	1	1	1	1				
	成果指標										
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	264	1,339	312	686				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	452	452	452	452			
		非常勤職員分		千円	156	156	156	156			
	総事業費		千円	872	1,947	920	1,294				
	単位あたりコスト		千円	174	19	77	22				
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円							
差引：一般財源		千円	872	1,947	920	1,294					
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度から区立保育園による定数外受託が行われ、奉仕員の受託数が減少した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		区立保育園での受託増は見込まれるが、奉仕員の受託は、前年同様少ない。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区内私立保育所に対する運営加算				整理番号	377		
所属名	女性・児童部保育課保育第一係	コード	130201		上位施策名(コード)				
予算事務事業名	保育施設園児等に対する法外援護				コード	37400			
					*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 47 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第51条					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区私立保育所運営費加算金交付要綱					
	区内私立保育所(10園)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名				
私立保育所に対し、国・都で定めた運営費に、区が公立保育所と同様の保育内容を確保するため加算している運営費等を支払う。				延在籍児童数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名					
私立保育所に在籍する児童が、公立保育所と同様に充実した保育を受けられるよう、区独自加算運営費を支払うことにより、保育所運営の安定性、及び児童の安全で快適な保育を確保する。				入所率 = 延在籍児童数 ÷ 延園児定員数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
私立保育所が公立保育所と同様に機能することにより、多様化する保育需要に貢献している。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	11,826	11,832	12,068	12,204		
	活動指標								
	成果指標		%	92	97	99	100		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	232,682	236,794	229,833	251,051		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.66	0.66	0.66	0.66	特記事項 平成11年度より公立保育所同様、「歳末慰問品」を廃止した。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,965	5,965	5,965	5,965		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	238,647	242,759	235,798	257,016		
	単位あたりコスト		千円	20	21	20	21		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	158	85	97	93		
		差引:一般財源	千円	238,489	242,674	235,701	256,923		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			女性の社会参加が進み、長時間保育、産休明け保育等保育需要の変化、また、ごみ処理の有料化等、社会環境の変化により、当初4項目だった加算項目が現在では21項目となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			私立保育園連盟、保育部会から、職員の増配置、運営管理費の増額など、毎年加算額の拡充について要望があがっている。					
	今後の予測			今後も、駅前保育等新規事業が実施となれば、私立保育所への補助も拡大する。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業（駅前保育所設置助成）				整理番号	379	
所属名	女性・児童部保育課保育第一係	コード	130201		上位施策名（コード）			
予算事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業		コード	37700			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成 11 年度		根拠法令等				
	事業終期	○ 無 ● 有 平成 13 年度		□ 実施計画事業				
	対象	□ 個人 □ 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 □ その他		平成 1 1 年度少子化対策臨時特例交付金実施要綱 平成 1 1 年度少子化対策臨時特例交付金交付要綱 杉並区民間児童福祉施設等助成金交付要綱				
	駅前保育所を設置する区内私立保育所							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			活動指標名				
平成 1 1 年度少子化対策臨時特例交付金を活用し、区内私立保育所の分園による駅前保育所設置費用を助成する。			助成保育所数					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			成果指標名					
駅前保育所設置費用を助成することにより、既設法人が駅前保育所を設置しやすくなり、待機児童の解消につながるようになる。								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
区内保育所入所待機児の解消に大いに貢献することとなる。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		園	2	0	1		
	活動指標							
	成果指標							
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	195,000	0	97,500		
	職員数（正規   非常勤）		人	0.01	0.01	0.01	特記事項 平成 1 3 年度改修工事を行ない、平成 1 3 年度中開園予定。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	90	90		
		非常勤職員分	千円	0	0	0		
	総事業費		千円	0	195,090	90		97,590
	単位あたりコスト		千円		97,545	#DIV/0!		97,590
	財源	受益者負担分	千円		0	0		0
		その他特定財源	千円		195,000	0		97,500
		差引：一般財源	千円	0	90	90		90
受益者負担比率		%		0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成 1 1 年度の限定事業（基金設置により 1 3 年度末まで可）として、少子化対策のため、国が自治体に交付金を支出し、それを使い各自治体が様々な少子化対策事業を行うこととなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)							
	今後の予測		平成 1 3 年 4 月より改修工事を行ない、平成 1 3 年度中開園の予定である。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業（私立保育園少子化対策助成）				整理番号	380			
所属名		女性・児童部保育課保育第一係		コード	130201		上位施策名（コード）			
予算事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業		コード	37700		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13 年度		平成11年度少子化対策臨時特例交付金実施要綱 平成11年度少子化対策臨時特例交付金交付要綱 杉並区民間児童福祉施設等助成金交付要綱				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	区内私立保育所（10園）									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			平成11年度少子化対策臨時特例交付金を活用し、区内私立保育所の保育環境整備のための施設・設備整備費用を助成する。		活動指標名 助成保育所数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			保育所の施設・設備の改善を図ることにより、魅力ある保育所づくりにつながり、待機児童の解消、児童の処遇環境の向上を図る。		成果指標名 助成実施率 = 助成保育所数 ÷ 助成対象保育所数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 園児にとっても安心して快適な保育環境が整えられた。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		園		9	9	1			
	活動指標									
	成果指標		%		100	100	100			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円		63,264	63,264	10,000			
	職員数（正規   非常勤）		人		0.01	0.01	0.01	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	90	90	90		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	0	63,354	63,354	10,090			
	単位あたりコスト		千円		7,039	7,039	10,090			
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0		
		その他特定財源		千円		63,264	63,264	10,000		
		差引：一般財源		千円	0	90	90	90		
受益者負担比率		%		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成11年度の限定事業（基金設置により13年度末まで可）として、少子化対策のため、国が自治体に交付金を支出し、それを使い各自治体が様々な少子化対策事業を行うこととなった。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測			平成12年度に、未交付であった1園に交付し事業は完了した。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 少子化対策臨時特例交付金事業（無認可保育室緊急設備整備助） 整理番号 381

所属名 女性・児童部保育課指導係 コード 130204 上位施策名（コード）  
 予算事務事業名 無認可保育室緊急設備整備助成 コード 37700 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度 事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度 対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内認可外保育施設（保育室）4 園	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区民間児童福祉施設等助成金交付要綱 平成11年度少子化対策臨時特例交付金実施要綱 厚生省
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 国の要綱に基づき、平成11年度に保育環境整備に要した費用を助成する。	活動指標名 保育室数
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 一定の保育水準を保ち、児童の良好な生活環境を確保する。	成果指標名 助成率 = 助成金交付を受けた保育室数 ÷ 区内の保育室数
	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 児童の健全な育成に貢献する。	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか  
児童の健全な育成に貢献する。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標			4	4			
	活動指標							
	成果指標			100	100			
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		3,887	3,887			
	職員数(正規 非常勤)	人		0.01	0.01		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	90	90		0
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	0	3,977	3,977		0
	単位あたりコスト		千円		994	994		
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円		3,887	3,887		
		差引：一般財源	千円	0	90	90		0
受益者負担比率		%						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成11年度の限定事業（基金設置により13年度末まで可）として、少子化対策のため、国が自治体に交付金を支出し、それを使い各自治体が様々な少子化対策事業を行うこととなった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 少子化対策臨時特例交付金事業（家庭福祉員緊急設備整備助成 整理番号 382

所属名 女性・児童部保育課指導係 コード 130204 上位施策名（コード）

予算事務事業名 家庭福祉員緊急設備整備助成 コード 37700 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度	杉並区民間児童福祉施設等助成金交付要綱 平成11年度少子化対策臨時特例交付金実施要綱
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 家庭福祉員（10人）	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 国の要綱に基づき、平成11年度に保育環境整備に要した費用を助成する。	活動指標名 家庭福祉員数
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 一定の保育水準を保ち、児童の良好な保育環境を確保する。	成果指標名 $\text{助成率} = \frac{\text{助成金交付を受けた家庭福祉員数}}{\text{区内の家庭福祉員数}}$

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか  
 児童の健全な育成に貢献する。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標			10	10			
	活動指標							
	成果指標			100	100			
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円		976	976			
	職員数(正規 非常勤)	人		0.01	0.01		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	90	90		0
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	0	1,066	1,066		0
	単位あたりコスト		千円		107	107		
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円		976	976		
		差引：一般財源	千円	0	90	90		0
受益者負担比率		%						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成11年度の限定事業（基金設置により13年度末まで可）として、少子化対策のため、国が自治体に交付金を支出し、それを使い各自治体が様々な少子化対策事業を行うこととなった。
	事業に対する住民の意見 （事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 区内私立・区外公私立保育所に対する国・都運営委託 整理番号 389

所属名 女性・児童部保育課保育第一係 コード 130201 上位施策名(コード)

予算事務事業名 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

民営保育園等に対する保育委託 コード 38600

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 22 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	児童福祉法第24条、第51条第1号
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区が保育の実施を行う乳幼児の在籍する保育所(区内公立保育所を除く)。	児童福祉法による保育所運営費国庫負担金について 杉並区保育扶助要綱
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 上記対象保育所に対し、国及び東京都で定めた保育所運営費を支払う。	活動指標名 延入所児童数
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 保護者の就労・疾病等により、保育に欠ける乳幼児を、区内公立保育所以外の保育所に入所させた場合に、その保育所に対し運営費を支払うことにより、保育所運営の安定、及び入所児童の安全で快適な保育を確保する。	成果指標名 入所実施率 = 延入所児童数 ÷ 延入所申込児童数 (延入所児童数 + 延待機児童数)

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか  
保護者が安心して子供を預け、働ける環境づくりに貢献している。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標	人	12,011	12,060	12,240	12,336		
	活動指標							
	成果指標	%	98	100	98	100		
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,397,272	1,371,435	1,360,648	1,421,323		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.82	0.82	0.82	0.82	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,411	7,411	7,411		7,411
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費	千円	1,404,683	1,378,846	1,368,059	1,428,734		
	単位あたりコスト	千円	117	114	112	116		
	財源	受益者負担分	千円	206,054	204,796	204,764		204,129
		その他特定財源	千円	374,382	396,198	399,741		423,279
		差引:一般財源	千円	824,247	777,852	763,554		801,326
	受益者負担比率	%	14.7	14.9	15.0	14.3		

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	開始当初、保育は措置であったが、平成9年6月の児童福祉法改正により、保護者が保育所を選択し、区が保育の実施をする方式に変わった。さらに、平成12年、国は保育所の設置主体に対する制限を緩和し、社会福祉法人以外の者が保育事業を行えるようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の解消。長時間保育の実施。
	今後の予測	保育所の設置主体への規制が緩和されたことにより、企業等が保育事業に参入することが予想され、待機児童の解消につながるものと思われる。

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育園維持運営		整理番号	392				
所属名	女性・児童部保育課保育第二係・指導係	コード	130202	上位施策名(コード)					
予算事務事業名	保育園運営			*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
コード	39200								
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第24条第1項、第39条 児童福祉施設最低基準(厚生省令) 保育園職員実務研修実施要領					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	区立保育園 保育園職員								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	区立保育園の施設・設備の維持管理・保守を一部委託により実施。 保育園職員に対する実務研修の実施		活動指標名			在籍児童数 研修参加人数		
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	区立保育園の施設・設備を適正な状態に維持する。 保育園職員の資質を向上し、保育内容の充実を図る。		成果指標名			$\text{研修参加率} = \text{研修参加人数} \div \text{研修参加予定人数}$			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 安全で快適な保育環境を維持することで、保育園児が健全に発育できる環境の実現に貢献している。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	43,682	44,508	43,578	44,556		
	活動指標		人	1,395	1,440	1,341	1,320		
	成果指標								
	成果指標		%	94	100	93	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	326,711	322,844	312,586	317,127		
	職員数(正規 非常勤)		人	57.42	56.56	56.56	56.56	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	518,980	511,189	511,189	511,189		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	845,691	834,033	823,775	828,316		
	単位あたりコスト		千円	19	19	19	19		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円	1,818	1,028	866		1,199
		差引:一般財源		千円	843,873	833,005	822,909		827,117
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		園舎の老朽化に伴い、補修・改修すべき箇所が増大してきている。また、生活水準の向上やライフスタイルの変化に伴い、保育園の施設・設備のレベルアップが必要になってきている。さらに、男性保育士の向けの施設・設備も必要になってきている。保育ニーズが多様化とともに、家庭・地域での子育て機能が低下してきている。また、児童虐待などの新たな問題も顕在化して						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		近年、保護者から施設設備の改修に関する苦情・要望が増加してきている。障害児保育など新たなニーズへの対応や充実に伴う、保育士の資質向上に対する要求が高まっている。						
	今後の予測		園舎の老朽化が一層進行し、大規模な改修が必要とされる園が増加することが予想される。 多様な保育ニーズに応えるため、日常の業務遂行上必要な専門知識の習得にとどまらない、職員のさらなる資質向上を図る研修がますます重要となる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般保育運営		整理番号	393				
所属名		女性・児童部保育課保育第二係		コード	130202				
予算事務事業名		保育園運営		コード	39200				
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度					
	事業終了期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	保護者が昼間に居宅外で常態的に労働しているなどで保育に欠けている児童			根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第24条第1項、第39条 児童福祉施設最低基準（厚生省令） 杉並区保育の実施に関する条例					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 朝夕保育を含め午前7時30分から午後6時30分まで児童を預かり保育を実施する。			活動指標名 在籍児童数 一般保育を行った保育園数					
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 保護者の就労機会を確保するとともに、保護者の協力・地域社会の連携の下、児童の心身が健全に発達できる環境を確保する。			成果指標名 入所実施率 = 在籍児童数 ÷ 申請者数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 保護者の保育ニーズに的確に対応することで、安心して子供を産み育てられる環境づくり及び児童の健全育成に貢献する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 11年度	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	43,682	44,508	43,578	44,556		
	活動指標		所	44	44	44	44		
	成果指標		%			78			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	492,998	525,263	511,039	512,754		
	職員数(正規 非常勤)		人	710.88	709.69	709.69	709.69	特記事項 保育料は一般保育と延長保育に充当	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,424,933	6,414,178	6,414,178		6,414,178
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	6,917,931	6,939,441	6,925,217	6,926,932		
	単位あたりコスト		千円	158	156	159	155		
	財源	受益者負担分		千円	881,899	880,328	887,674		884,400
		その他特定財源		千円	1,106,760	950,822	1,011,222		1,060,741
		差引：一般財源		千円	4,929,272	5,108,291	5,026,321		4,981,791
	受益者負担比率		%	12.7	12.7	12.8	12.8		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			少子化が進行する中で、女性の社会進出の増加や家庭・地域の子育て機能の低下に伴い保育需要は伸びている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			無認可保育所に通園している保護者の認可保育所への通園希望 84.2% (「乳幼児並びに児童の子育て状況実態調査」H10 児童課調べ) 入園希望に関する要望が多く寄せられている。					
	今後の予測			今後も女性の社会進出の進行や家庭・地域の子育て機能の低下は続くと予想され、保育事業への需要は増加するものと見込まれる。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		延長保育		整理番号	395				
所属名	女性・児童部保育課保育第二係	コード	130202	上位施策名(コード)					
予算事務事業名				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
保育園運営	コード	39200							
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度		根拠法令等					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第24条第1項、第39条 児童福祉施設最低基準(厚生省令) 杉並区保育の実施に関する条例					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保護者が昼間に居宅外で常態的に労働しているなどで保育に欠ける児童							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	午後6時30分から午後7時30分までの間、拠点方式により延長保育を必要とする児童を預かり保育を実施する。		活動指標名					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	保護者の就労時間の多様化・通勤事情を考慮した保育需要へ対応する。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 保護者の保育ニーズに的確に対応することで、安心して子どもを産み育てられる環境をつくり、児童の健全育成に貢献する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	3,780	3,840	3,417	3,960		
	活動指標		所	16	16	16	16		
	成果指標		%			89			
	成果指標		%	9	9	8	9		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	70,764	65,341	66,607	65,360		
	職員数(正規 非常勤)		人	17.74	17.65	17.65	17.65	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	160,334	159,521	159,521		159,521
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	231,098	224,862	226,128	224,881		
	単位あたりコスト		千円	61	59	66	57		
	財源	受益者負担分		千円	9,484	9,332	8,888		9,089
		その他特定財源		千円	22,508	21,409	18,063		20,318
		差引:一般財源		千円	199,106	194,121	199,177		195,474
受益者負担比率		%	4.1	4.2	3.9	4.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		保護者の就労時間の多様化及び通勤事情に対応した保育需要を確保するため、交通の利便性と地域のバランスを考慮しつつ、延長保育指定園を配置してきた。現在も同環境のもとに、事業を実施している。当初7園から現在では16園で実施している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		延長保育指定園の増や時間の延長、延長待機児童の解消などの要望がある。						
	今後の予測		今後も延長保育の需要はさらに高まるものと予想される。また、延長時間の増など、延長保育の充実も望まれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		産休明け保育		整理番号		396			
所属名		女性・児童部保育課保育第二係		コード		130202			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
保育園運営		コード		39200					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 1 年度		根拠法令等			□ 実施計画事業	
	事業終期		● 無 ○ 有 平成 年度		児童福祉法第24条第1項、第39条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保護者が昼間に居宅外で常態的に労働しているなどで保育に欠ける児童(産休明けの保護者)		児童福祉施設最低基準(厚生省令)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		保護者の産休明けから児童を預かり保育を実施する。		杉並区保育の実施に関する条例				
	活動指標名		産休明け保育延児童数 産休明け保育を行った保育園数						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		産休明け保育を要する児童を保育することにより、児童福祉の向上を図る。		成果指標名					
				入所実施率 = 産休明け保育児童数 ÷ 産休明け保育申請者数  定員率 = 産休明け保育児童定員数 ÷ 総児童定員数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
保護者の保育ニーズに的確に対応することで、安心して子どもを産み育てられる環境をつくり、児童の健全育成に貢献する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	1,486	1,500	1,483	1,500		
	活動指標		所	11	11	11	11		
	成果指標		%			59			
	成果指標		%	3	3	3	3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,964	25,001	24,565	24,400		
	職員数(正規 非常勤)		人	80.65	79.30	79.30	79.30	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	728,915	716,713	716,713		716,713
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	752,879	741,714	741,278	741,113		
	単位あたりコスト		千円	507	494	500	494		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	3,120	0	0		0
		差引:一般財源		千円	749,759	741,714	741,278		741,113
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成元年より産休明け保育を1園から開始し、現在11園で実施している。少子化が進行する中で、母親の就労、育児休業制度の普及により、乳児の保育需要は増えている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		平成10年度に実施した「乳幼児並びに児童の子育て状況実態調査」によれば、0歳児保育実施園の増設等の要望がある。						
	今後の予測		今後も、女性就労の増加、育児休業制度の普及に伴い、産休明け保育の需要は増加すると見込まれる。また、入所予約制度等による入園等、より安定した入園を望む保護者も増える。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		緊急一時保育				整理番号		397			
所属名		女性・児童部保育課保育第二係		コード		130202		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保育園運営		コード		39200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 2 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区緊急一時保育事業実施要綱	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保護者の疾病、出産等により緊急に保護を必要とする児童。							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			保護者の疾病、出産等により緊急に保護を必要とする児童を区立保育園で受け入れる。		活動指標名				緊急一時保育延受託日数 緊急一時保育受入れ園数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			家族の負担を軽減するとともに、児童の良好な生活環境を確保する		成果指標名				受託率 = 緊急一時保育延受託日数 ÷ 過去5年間の平均受託延日数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 児童の健全育成に貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値		目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		日	555	470	479	470				
	活動指標		所	34	44	20	44				
	成果指標		%	159		111					
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	859	842	846	852				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,356	1,356	1,356	1,356			
		非常勤職員分		千円	467	467	467	467			
	総事業費		千円	2,682	2,665	2,669	2,675				
	単位あたりコスト		千円	5	6	6	6				
	財源	受益者負担分		千円	757	711	744	691			
		その他特定財源		千円							
		差引：一般財源		千円	1,925	1,954	1,925	1,984			
受益者負担比率		%	28.2	26.7	27.9	25.8					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成9年度から区立保育園において定数外受託が行われ受託が増加した。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			緊急一時保育の要件に該当しない一時保育の問合せがある。							
	今後の予測			核家族化が進み、保護者にかわり児童を保育する家族等がなくなり、需要はますます増加すると見込まれる。							



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		園外保育実施		整理番号		398			
所属名		女性・児童部保育課保育第二係		コード		130202			
予算事務事業名		保育園運営		コード		39200			
						*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第2条		厚生省保育所保育指針	
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区立保育園児			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			借り上げバス又は交通機関により秋季及び卒園遠足を実施する。また、プラネタリウム見学のための交通費、園庭のない荻窪保育園における室外保育のための交通費を負担する。		活動指標名		秋季・卒園遠足参加児童数 実施回数	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			園外での活動をとおして、自然とのふれあい・交通ルール等の学習・異年齢児との交流をするなかで、園児の思い出づくりの場とする。		成果指標名			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
思いやり・助け合い等心の育成や思い出づくりの場として役立っている。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	2,636	2,761	2,550	2,843		
	活動指標		回	88	88	88	88		
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,537	3,962	3,412	4,167		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	904	904	904	904		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	4,441	4,866	4,316	5,071		
	単位あたりコスト		千円	2	2	2	2		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	4,441	4,866	4,316	5,071			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			交通機関の発達や対象施設が増加・充実してきており、園外保育の実施場所が多様化してきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			プラネタリウム等の保護者負担について、公費負担の要望があった。また、都の指導検査においても、保護者負担の是正を指摘されている。(平成12年度予算措置)					
	今後の予測			今後も実施場所の多様化が予想される。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育園給食運営				整理番号		399			
所属名		女性・児童部保育課保育第二係		コード		130202		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保育園運営		コード		39200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第24条第1項、第39条				児童福祉施設最低基準(厚生省令)	
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区保育の実施に関する条例					
	区立保育園に通園する児童										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			児童に対して、職員が調理した昼食及びおやつを提供する。		活動指標名				在籍児童数 実施保育園数	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			児童の成長に必要なバランスのとれた栄養の摂取。また、食習慣や食事態度の形成、栄養や衛生に関する知識の付与。		成果指標名						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
児童の健やかな成長に貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績				計画	年度	
指標	活動指標		人	43,682	44,508	43,578	44,556				
	活動指標		所	44	44	44	44				
	成果指標										
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	253,916	270,105	253,136	264,967				
	職員数(正規 非常勤)		人	103.92   6.00	103.74   7.00	103.74   7.00	103.74   7.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	939,229	937,602	937,602	937,602			
		非常勤職員分		千円	18,696	21,812	21,812	21,812			
	総事業費		千円	1,211,841	1,229,519	1,212,550	1,224,381				
	単位あたりコスト		千円	28	28	28	27				
	財源	受益者負担分		千円	28	30	23	30			
		その他特定財源		千円							
		差引:一般財源		千円	1,211,813	1,229,489	1,212,527	1,224,351			
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			完全給食により、家庭の負担が軽減されたとともに、乳幼児の月例にあった調理形態・材料により給食が提供されるようになった。また、近年食物アレルギー児への対応が増加している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			アレルギー児への完全給食の実施や宗教上の理由により食べられない献立の代替食の提供に関する保護者要望が増えている。							
	今後の予測			集団給食における安全な食材等の選定や衛生管理に対する要求が強まることが予想される。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子育て支援事業				整理番号		400			
所属名		女性・児童部保育課指導係		コード		130204		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保育園運営		コード		39200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区子育てサポート事業実施要綱				子育てひろば事業実施要綱(都) 子育てひろば事業費補助要綱(都)	
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		子育てに不安を持つ区民。					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			子育てに不安を持つ親に対し、育児相談に応じたり子育て情報の提供を行う。また、体験保育をとおして育児の不安解消につなげる。		活動指標名				体験保育件数 育児相談件数	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			保護者が子育てのさまざまな不安を解消し、ゆとりのある子育てをする。		成果指標名				体験保育利用率 = 体験保育件数 ÷ 過去5年間の平均体験保育件数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
ゆとりある保育環境のなかで児童のすこやかな成長に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	15年度				
指標	活動指標		件	160	150	141	150	210			
	活動指標		件	1,819	2,000	1,871	2,000	2,800			
	成果指標		%	205		148					
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,292	1,324	1,095	933				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.39   10.00	1.39   9.53	1.39   9.53	1.39   10.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,563	12,563	12,563				12,563
		非常勤職員分		千円	31,160	29,695	29,695				31,160
	総事業費		千円	45,015	43,582	43,353	44,656				
	単位あたりコスト		千円	281	291	307	298				
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円	3,696	4,566	3,488				2,476
		差引:一般財源		千円	41,319	39,016	39,865				42,180
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			子育てサポートセンターが2箇所から5箇所となった。これにより体験保育は希望する親子のほとんどを受け入れることが出来るようになった。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測			核家族化が進み子育てに不安をかかえる保護者がますます増えると見込まれるため、相談業務を含めさまざまな保育ニーズに応えて行く必要がある。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ファミリー・サポート・センター				整理番号	401			
所属名		女性・児童部保育課指導係		コード	130204		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保育園運営		コード	39200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区ファミリー・サポート・センター事業実施要綱				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都仕事と育児両立支援特別援助事業費補助金交付要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			子育ての援助が必要な働く区民(利用会員)と援助ができる区民(協力会員)が相互援助を行なう会員組織を運営する。杉並区社会福祉協議会に事業委託。		中小企業福祉事業費補助金、女性就業促進費補助金及び勤労者家庭支援施設等整備費補助金交付要綱				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			働く区民の仕事と育児の両立を支援することにより、区民が安心して働くことができるようにする。		活動指標名 会員数				
					成果指標名 稼働率 = 活動回数 ÷ 会員数  利用率 = 会員数 ÷ 保育園在籍児童数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		人		150	229	350	500	45.8	
	活動指標									
	成果指標		%			52				
	成果指標		%			5				
総事業費・コスト把握	事業費		千円		7,187	6,300	10,068			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.10	0.00	0.10	0.00	0.20	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	904	904	1,808	特記事項 ファミリー・サポート・センター 平成11年11月設立、平成12年3月活動開始		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	0	8,091	7,204	11,876			
	単位あたりコスト		千円		54	31	34			
	財源	受益者負担分	千円							
		その他特定財源	千円		3,296	3,296	4,068			
		差引:一般財源	千円	0	4,795	3,908	7,808			
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成12年3月事業開始したが、会員数は順調に増加している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			利用会員の希望に添えなかった事例は生じていないが、共働き以外の幅広い世帯が利用会員になれるようにとの要望がある。						
	今後の予測			女性の社会参加の増大により、今後も共働きの世帯が増えるため、保育園、学童保育等に対応できない変動的、臨時的保育需要も増加すると見込まれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設維持管理		整理番号		418		
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進コード		130431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100		
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		行政財産使用料条例			
	男女平等推進センターの建物、及びセンターを利用する個人・団体		男女平等推進センター登録団体使用取扱要項					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名					
センターの維持管理(建物の維持管理委託に係る部分については児童青少年センターに令達)		集会室2有料利用回数 印刷機・複写機有料利用枚数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名						
快適かつ安全な施設環境に保全する。		施設不備・不具合件数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
センター利用者の男女共同参画社会づくりの意識が高まる。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		回	1	2	1	2	
	活動指標		枚	9,037	9,550	10,034	9,550	
	成果指標		件	0	0	0	0	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,806	9,431	8,890	7,748	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,356	1,356	1,356	1,356	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	11,162	10,787	10,246	9,104	
	単位あたりコスト		千円	11,162	5,393	10,246	4,552	
	財源	受益者負担分	千円	109	118	117	118	
		その他特定財源	千円					
		差引:一般財源	千円	11,053	10,669	10,129	8,986	
受益者負担比率		%	1.0	1.1	1.1	1.3		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「男は仕事 女は家庭」という考え方について(実態調査より) 平成8年: 同感する=14.4% 同感しない=34.3% 平成10年: 同感する=17.2% 同感しない=45.3%					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		最寄の駅から離れており不便である。 集会室の数が少ない。 受付に男女平等推進センター職員を配置してほしい。					
	今後の予測		施設維持管理費については、経年劣化に伴い、通常の維持管理経費に加えて修繕費が増える。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		企画運営委員会		整理番号		419			
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進コード		130431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例 男女平等推進センター企画運営委員会設置要綱 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画			
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			委員会を男女平等推進センターで年6回開催し、センター事業の企画や運営について提言する		活動指標名			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			センター事業に対し、区民の立場として、より貴重な提言を行い、事業に反映させる。		成果指標名				
					委員会開催数 出席人数				
					区民企画事業審査数 区民企画事業決定数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 施策推進にあたって、チェック機能を果たし、区民参画で行うことができる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		回	6	6	6	6		
	活動指標		人	61	72	59	72		
	成果指標		件	8	5	6	5		
	成果指標		件	3	5	5	5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	458	532	435	496	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,711	2,711	2,711		2,711
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	3,169	3,243	3,146	3,207		
	単位あたりコスト		千円	528	541	524	535		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	3,169	3,243	3,146	3,207			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成9年5月に委員会が設置され、現在二期目の委員会運営も徐々に円滑に進むようになってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			委員会の意見をセンター事業に反映させることが、住民の意見を取り入れたことにつながる。					
	今後の予測			同規模で開催する予定。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		パートタイマー報酬、図書・資料購入				整理番号	420		
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進コード		130431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 男女平等推進センター条例 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 情報・資料コーナーを利用する個人・団体					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			男女共同参画社会づくりに関する情報を収集・発信するため関連図書等を購入し、その貸出し・返却業務のためパートタイマー2名を雇入れる。		活動指標名			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			利用者の男女共同参画社会づくりに関する知識や意識を高める。		成果指標名			
					(代) 図書貸出冊数  (代) 利用登録者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
男女共同参画社会づくりにおける区民の意識が高まる。									
区分		単位	10年度 実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11 年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	6,090	6,700	6,730	4,500		
	活動指標		人	3	2	2	2		
	成果指標		冊	612	670	776	700		
	成果指標		人	97	110	102	92		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,111	4,590	4,031	2,751		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.40	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,615	3,615	3,615		3,615
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	7,726	8,205	7,646	6,366		
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引:一般財源		千円	7,726	8,205	7,646	6,366			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			蔵書数 平成10年度: 2,142冊 平成11年度: 2,360冊					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			区立図書館でも、センター図書の貸出し、返却ができるようにしてほしい。					
	今後の予測			地理的に便の良い所ではないので、利用増はあまり期待できない。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ニュースの発行				整理番号		421							
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進センター		コード		130431		上位施策名(コード)							
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業									
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画									
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名									
事務事業の概要		男女平等推進誌「ゆうCan」の発行(年4回) 公募区民による編集委員により作成		編集会議の開催数		配布枚数									
		意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名		(代) 配布枚数									
		男女共同参画社会づくりに関する情報を区民に提供することにより意識を啓発する。													
		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		男女共同参画社会づくりに関する意識の啓発として貢献している。											
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値		目標値に対する11年度の達成率%			
						計画		実績		計画		年度			
指標		活動指標		回		31		30		33		30			
		活動指標		枚		18,000		18,000		13,500		18,000			
		成果指標		枚		18,000		18,000		13,500		18,000			
		成果指標													
総事業費・コスト把握		事業費		千円		1,332		1,329		1,048		1,085			
		職員数(正規 非常勤)		人		0.50		0.50		0.50		0.50		特記事項	
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		4,519		4,519		4,519		4,519	
				非常勤職員分		千円		0		0		0		0	
		総事業費		千円		5,851		5,848		5,567		5,604			
		単位あたりコスト		千円		189		195		169		187			
		財源		受益者負担分		千円									
				その他特定財源		千円									
				差引:一般財源		千円		5,851		5,848		5,567		5,604	
		受益者負担比率		%											
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		「男は仕事、女は家庭」という考え方について(実態調査より) 平成8年: 同感する = 14.4% 同感しない = 34.3% 平成10年: 同感する = 17.2% 同感しない = 45.3%											
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		ほとんど反応がないので、住民の意見を吸い上げるための工夫が必要。											
		今後の予測		発行部数としては現状を維持する。											



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		セミナー開催		整理番号		422			
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等センター		コード		130431			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
男女平等推進センター運営		コード		40100					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例			男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 男女共同参画社会・ジェンダーフリーについて興味がある人		活動指標名			講座開催数 講座参加者数(延べ)	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		企画立案 講師交渉 起案 広報誌・チラシ等でのPR 会場設営 実施 後片付け 記録作成 企画運営委員会へ報告		成果指標名			自主グループ設立数	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		女性問題の解決に役立つ基礎的な知識のほかコミュニケーション能力・問題解決能力の養成等をめざした学習を行う		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 社会教育における男女平等の推進				
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
指標	活動指標		回	29	25	22	20		
	活動指標		人	306	525	354	360		
	成果指標		団体	0	2	1	1		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,270	1,453	885	1,149		
	職員数(正規 非常勤)		人	2.51	2.51	2.51	2.51	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	22,685	22,685	22,685	22,685	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	23,955	24,138	23,570	23,834		
	単位あたりコスト		千円	826	966	1,071	1,192		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引:一般財源		千円	23,955	24,138	23,570	23,834			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		変化がみられるほど年数が経っていない						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		一方的な講義だけでなく、参加者の意見発表や交流の場を含めた講座を企画してほしい						
	今後の予測		女性の生き方・価値観の多様化により、講座に対する要望も今後ますます多様化するものと思われる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リーダー養成		整理番号		424			
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進		コード		130431			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内女性団体・グループ		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区女性団体連絡会に分担金を支出し、講習会開催、区内女性団体の交流会等を共催で実施する。		活動指標名				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域活動における男女共同参画社会の促進のためにリーダーとなってもらう。		成果指標名				
				(代) 各種事業延べ参加者数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
男女共同参画社会づくりの観点から、地域活動における女性のエンパワメントが高まる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		団体	133	133	101	120		
	活動指標		人	120	330	302	302		
	成果指標		人	120	330	302	302		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	855	803	624	500		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.45	0.45	0.45	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,067	4,067	4,067		4,067
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	4,922	4,870	4,691	4,567		
	単位あたりコスト		千円	37	37	46	38		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	4,922	4,870	4,691	4,567			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年12月に男女共同参画都市宣言をし、区として男女共同参画社会を目指す決意を内外に示した。又、平成10年度からは区内女性団体との交流のつどいなどを行い、他都市・区民等と杉並区の女性団体との交流を進めてきた。 参加状況：133団体から101団体						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		(仮称) 男女平等推進に関する条例の制定						
	今後の予測		現在は杉並区女性団体連絡会と共催でリーダー養成関連事業を進めてきたが、今後は男女共同参画社会実現を目指すことに賛同する団体・グループならば女性・男性を問わず区との共催を進め、多様な分野からのリーダーを得ていくことが求められる。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ネットワークづくり				整理番号		425		
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進セコード		130431		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内女性団体・グループ		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動のPRのために活動記録及びグループ一覧の編集 発行 配布		活動指標名 活動記録及びグループ一覧(1年おきに発行)の発行部数 配布部数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		男女共同参画社会の実現のための活動情報を区民・団体に提供し、ネットワークづくりを行う。		成果指標名 (代) 配布部数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 団体・グループのネットワーク化を図り、男女共同参画社会づくりの基盤を広げる。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		部	400	600	600	400			
	活動指標		部	400	600	500	400			
	成果指標		部	400	600	500	400			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	477	493	402	341	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,711	2,711	2,711			2,711
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0
	総事業費		千円	3,188	3,204	3,113	3,052			
	単位あたりコスト		千円	8	5	5	8			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0			0
		その他特定財源		千円	0	0	0			0
		差引:一般財源		千円	3,188	3,204	3,113			3,052
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度末		平成11年度末					
			グループ数		133		101			
			杉並区女性団体連絡会加盟団体数		72		62			
事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
今後の予測		団体構成員の高齢化や女性のみで構成された団体の減少傾向は続くと思われる。 活動が多様化してきている。 センターでは、ジェンダーフリーをめざした登録団体が増えてきている。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区民企画事業		整理番号	426				
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進コード		130431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100			
*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名						
	講座の企画から実施まで団体のメンバーで行う。 応募 審査(企画運営委員会) 実施 記録集の発行 年5事業以内(1事業につき最大10万円支出)		事業申込数 審査件数(企画運営委員会)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名							
男女平等の社会的風土づくりのために活動する団体を増やすとともに各団体の力を高め、分担金(補助金)の支給対象となるような団体を育成していく。また、区民の柔軟な発想や企画力を生かして、男女共同参画社会づくりへの働きかけを一般区民にすることができる。		事業実施数  (代)分担金(補助金)支給対象団体数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
団体(区民)が主体となって事業を行うことにより区民のニーズに合った地域・家庭における男女平等への意識づくりに貢献する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		件	8	5	6	5		
	活動指標		件	8	5	6	5		
	成果指標		事業	3	5	5	5		
	成果指標		団体	0	0	0	5		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	348	498	669	498	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.45	0.45	0.45	0.45		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,067	4,067	4,067		4,067
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	4,415	4,565	4,736	4,565		
	単位あたりコスト		千円	552	913	789	913		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	0	0	0		0
		差引:一般財源		千円	4,415	4,565	4,736		4,565
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		男女平等推進センター登録団体数 平成9年度: 21 団体 平成11年度: 35 団体						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		講座の開催のみならず調査・研究等に対してもお金がもらえるようにしてほしい。また、1事業に対する金額も増やしてほしい。						
	今後の予測		行政が主体の事業から団体(区民)主体の事業を行う意義がますます高まってくる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		人材リスト		整理番号		427			
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進コード		130431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 15 年度		男女平等推進センター条例				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画				
	区の各種審議会								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各種審議会の委員(主に学識経験者)になりうる女性の情報を収集し、提供する。						
活動指標名		掲載人数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		各種審議会における女性委員の比率を30%にする。							
成果指標名		リスト活用による委員登用人数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
公的な意思決定過程において、男女の意見が均等に反映できる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人		100	141	141		
	活動指標								
	成果指標		人		0	0	6		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	49	300	307	24		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	904	904	904		904
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	953	1,204	1,211	928		
	単位あたりコスト		千円		12	9	7		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引:一般財源		千円	953	1,204	1,211	928			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		審議会等における女性委員の比率 平成9年1月現在 = 25.0% 平成11年1月現在 = 32.8% 平均で30%を超えたが、審議会によっては一方の性に偏りが見られる。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測		リストの活用により、少しずつではあるが女性委員の比率が増えていくと思われる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		相談		整理番号		428		
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進コード		130431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100		
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画			
	区民一般							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名					
センターにおいて無料で一般相談(火～土曜の10:00～16:00)、法律相談(毎木曜の13:15～17:15、月1回は夜間、いずれも予約制)を実施する。		年間開催日数(延べ)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名						
悩み事が解決され、安心して生活をおくれるようにする。		一般相談心の相談率(心の相談件数/相談件数)						
		(代)相談件数(一般相談+法律相談)						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
男女共同参画社会づくりの視点から、社会的に弱い立場にある女性の自立に貢献する。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		日	292	292	292	286	
	活動指標							
	成果指標		率	18		15		
	成果指標		件	1,097		1,077		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,612	6,742	6,677	4,758	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	特記事項
	人件費	職員分(超勤加分含む)	千円	1,356	1,356	1,356	1,356	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	7,968	8,098	8,033	6,114	
	単位あたりコスト		千円	27	28	28	21	
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
		差引:一般財源	千円	7,968	8,098	8,033	6,114	
	受益者負担比率		%					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		微量だが件数が減りつつある。ただし、1件あたりにかかる時間が長くなってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		相談時間の制限が緩やかで、落ち着いて相談できる。					
	今後の予測		社会状況の変化に伴い、より複雑で深刻な相談内容になってくると予想される。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自立支援		整理番号		429			
所属名		女性・児童部女性・青少年課男女平等推進センター		コード		130431			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		男女平等推進センター運営		コード		40100			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女平等推進センター条例			男女共同参画社会を目指す杉並区行動計画	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		経済的に自立をめざす女性				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		女性の経済的自立支援、就職するにあたっての情報の提供(講演)とパソコン実技の講習		活動指標名			講演回数 講習回数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		女性の経済的自立を支援する学習と情報を提供することにより、自立への意識と方法を学ぶ。		成果指標名			就職率(就職人数/アンケート回収数)  就職率(就職人数/講習会参加人数)	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 女性の職業意識、自立意識の向上につながっている。									
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
					計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		回	1	1	1	1		
	活動指標		回		1	1	1		
	成果指標		%		20	20	20		
	成果指標		%		12	12	12		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	416	589	215	589		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50		特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,519	4,519	4,519	4,519	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	4,935	5,108	4,734	5,108		
	単位あたりコスト		千円	4,935	5,108	4,734	5,108		
	財源	受益者負担分		千円	0	280	0	280	
		その他特定財源		千円					
		差引:一般財源		千円	4,935	4,828	4,734	4,828	
受益者負担比率		%	0.0	5.5	0.0	5.5			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		女子学生対象講座と再就職希望者講座を一本化し、より就職に有利になるよう平成11年度からパソコン講座とした。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		講座終了後、受講生に調査を行ったところ、役にたったという意見が多かった。実際に就職できた人数は若干名ではある。						
	今後の予測		今後は就職にあたってますますパソコンの実技能力は必要とされるため、講座参加希望者も増加すると思われる。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		情報誌の発行				整理番号		433		
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		女性行政振興		コード		40210		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成 3 年度		根拠法令等					
	事業終期		● 無 ○ 有 平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 男女共同参画社会基本法 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱 杉並区女性関係行政推進会議設置要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 新成人向け啓発誌... 20歳になった新成人区民資料集... 一般区民及び団体							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		「成人祝賀のつどい」時に新成人に対して、男女平等啓発誌を作成・配布 区民及び団体に対し資料集を作成・配布		活動指標名					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		男女平等に関する情報を提供することにより、男女平等・男女共同参画についての理解を深めてもらう。		成果指標名 理解者率 = 男女平等の理解を深めた人 ÷ 推進誌配布数  (代) 啓発誌配布部数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 女性も男性も社会のあらゆる分野に対等なパートナーとして参画できる社会を実現する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	15 年度			
指標	活動指標		部	2,700	3,300	3,300	2,700			
	活動指標		部	2,584	3,300	2,785	2,700			
	成果指標		部	2,584	3,300	2,785	2,700			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	496	1,437	749	400			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.40	0.50	0.50	0.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,615	4,519	4,519	2,711		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	4,111	5,956	5,268	3,111			
	単位あたりコスト		千円	2	2	2	1			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引：一般財源		千円	4,111	5,956	5,268	3,111				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年6月に男女共同参画社会基本法が施行され、都でも、男女平等参画基本条例が制定されるなど活発な動きをみせている。男女平等に対する意識も女性に対する不平等意識から女性の自立・社会参画等、男女が対等な立場で社会や家庭を担う男女共同参画社会の形成へと変わってきている。また、「女性に対する暴力」に対する問題がクローズアップしてきている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		男女共同参画宣言都市にふさわしい行政のあり方が求められている。							
	今後の予測		少子・高齢化が進むことにより、育児や介護を含めた家庭と仕事の両立、また、セクシュアル・ハラスメントや家庭内暴力など女性の人権について、今後ますます情報提供や意識啓発が必要になってくる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		職員啓発				整理番号		434			
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		女性行政振興		コード		40210		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女共同参画社会基本法					
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱					
	区職員					杉並区女性関係行政推進会議設置要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			職員向け男女平等推進紙「風媒花」を作成 各係に配布 庁内放送(朝メモ)による啓発		活動指標名				推進紙発行部数 推進紙を読んだ職員数	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			行政に携わる職員に男女平等について理解を深めてもらう		成果指標名				男女平等の理解を深めた職員の割合  推進誌を読んだ職員数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 職員が男女平等について理解を深めれば、行動計画に基づき各部署の施策が推進し男女共同参画社会が実現する。また、職場の男女平等が実現する。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標	部	1,200	1,800	1,800	1,800					
	活動指標	人	4,342	4,322	4,322	4,662					
	成果指標	%									
	成果指標	人	4,342	4,322	4,322	4,662					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3	4	4	4					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.20	0.20	0.20		特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,808	1,808	1,808	1,808				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費	千円	1,811	1,812	1,812	1,812					
	単位あたりコスト	千円	2	1	1	1					
	財源	受益者負担分	千円								
		その他特定財源	千円								
差引:一般財源		千円	1,811	1,812	1,812	1,812					
受益者負担比率	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年6月に男女共同参画社会基本法が施行され、都でも、男女平等参画基本条例が制定された。雇用の分野では、男女雇用機会均等法が改正されるなど法律は整備されてきている。区でもセクシュアル・ハラスメント防止対策委員会が設置され、セクハラに関する意識調査が行なわれた。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		男女平等・共同参画の視点で施策が推進されることが望まれている。								
	今後の予測		男女共同参画社会を実現するためには、全庁的に事業を推進していく必要がある。今後「少子・高齢化」や「女性に対する暴力」など、さまざまな問題を解決していくためには、職員一人ひとりが、「男女平等・参画」の視点で各々の仕事をすすめていかなければならない。また、区の職場での男女平等を実現するためにも今後啓発を続けていく必要がある。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		調査研究		整理番号		435				
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401				
上位施策名(コード)										
予算事務事業名		女性行政振興		コード		40210				
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女共同参画社会基本法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱					
	意識と実態調査：一般区民		行動計画推進状況調査：各主管課		杉並区女性関係行政推進会議設置要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		意識と生活実態調査（年1回） 行動計画推進状況調査（前年度の推進状況）		活動指標名 意識と生活実態調査のサンプル数 296事業の推進状況を調査					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		意識と実態調査：区民の意識や実態を把握し、女性関係施策に反映させる 行動計画推進状況調査：年度毎の推進状況調査により各施策の事業実績を区民へ明示できる		成果指標名 実態調査報告書 = 本書400部 ダイジェスト版1,000部  (代) 推進状況調査報告書 = 400部						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 行動計画を改定する時や、新たな事業に取り組む時の参考になる。 行動計画の各事業実績を把握することにより、さらに目標を上げることができる。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	13年度			
指標	活動指標		人	1,400			1,400	0.0		
	活動指標		事業	268	296	296	296	296	100.0	
	成果指標		部	1,400			1,400	0.0		
	成果指標		部	500	500	400	400	400	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,809	800	433	665	3,800		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	0.50	0.50	0.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,038	4,519	4,519	2,711		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	14,847	5,319	4,952	3,376			
	単位あたりコスト		千円	11						
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引：一般財源		千円	14,847	5,319	4,952	3,376				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		11年6月、男女共同参画社会基本法が制定され、12年3月には東京都も男女平等参画基本条例が制定された。経済社会環境の変化の中で女性の就業率が高まる一方、仕事と家庭の両立が難しく少子化が進み、さらに、高齢社会を支えていくためにも男女共同参画社会の実現が必要になってくる。また、女性に対する暴力など、今まで潜在化していた問題がクローズ・アップされている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		女性に対する暴力の実態調査、働く女性の実態調査などを行って欲しいとの要望がある。							
	今後の予測		少子・高齢化が進む中で、男女の新たな問題などに関して常時把握し、施策に反映させて行かなければならない。現在の行動計画は15年度までなので、15年度中には地域の特性にあった新たな計画を策定しなければならず、実態調査も必要となる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進				整理番号		436		
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード	130401		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		女性行政振興		コード	40210		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		男女共同参画社会基本法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱				
	都市宣言事業 = 区民、地域団体 区民懇談会 = 公募区民、団体代表、関係機関、学識経験者					杉並区女性関係行政推進会議設置要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			男女共同参画都市宣言記念事業 男女共同参画推進区民懇談会		活動指標名				都市宣言記念事業の参加者数 区民懇談会の開催数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			都市宣言を記念した事業を行い宣言都市の周知に努める。 男女共同参画の推進を図るため、男女平等・共同参画に関する施策について区民の意見を集約し、女性関係行政に反映させる。		成果指標名				宣言記念事業やその他の啓発により、宣言都市であると認識を持っている人の割合  区民の意見を集約し、女性関係行政に反映できた件数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区民と区が良好なパートナーシップのもとに、男女共同参画社会の実現に貢献する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	14 年度			
指標	活動指標		人	300	300	280	200	1,500		
	活動指標		回		2	2	3	10		
	成果指標		%	8	20	15	30	60		
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円		1,088	1,152	572	5,000		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.80	0.80	1.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,615	7,230	7,230	10,846			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	3,615	8,318	8,382	11,418			
	単位あたりコスト		千円	12	28	30	57			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
		差引:一般財源		千円	3,615	8,318	8,382	11,418		
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			区は平成9年12月1日に男女共同参画都市宣言を行った。できるだけ多くの刊行物に宣言文を掲載するなど、普及啓発に努力している。12年1月には全国男女共同参画宣言都市サミット(熊本県八代市開催)に区長、区議会議員、女性団体等が出席している。なお、東京都内の宣言都市=杉並区、立川市、羽村市、日野市、府中市、小金井市、八王子市(12.8.1現在)						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			平成14年度の区制70周年記念行事の一環に男女共同参画宣言都市サミットを開催して欲しいという要望が女性団体等から寄せられている。 「杉並区21世紀ビジョン」策定に男女共同参画の視点を各分野に盛り込むよう区民懇談会の意見書を提出した						
	今後の予測			男女共同参画社会基本法が制定後、各地の地方自治体で条例設置や都市宣言をするなど、全国的に男女共同参画が進むなかで他の宣言都市と情報交換しながら、男女共同参画社会の実現を推進していく。 女性に対する暴力など、さまざまな問題がクローズアップされてきている。それらの問題に対して区民の意見を聴きながら解決しなければならない。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年問題協議会				整理番号		437							
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401		上位施策名(コード)							
予算事務事業名		青少年育成		コード		40250		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 30 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		青少年問題審議会及び地方青少年問題協議会設置法									
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区青少年問題協議会条例									
	区内外の青少年育成関係の官公署、区内団体の代表及び個人					杉並区青少年問題協議会要綱									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			区長の附属機関で、区長が会長となり青少年の指導、育成、保護、矯正等健全育成に関し審議する。		活動指標名				年3回					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			地域の青少年の健全な育成を実現するため、協議会を活性化し、有効な会議とする。		成果指標名				区内非行件数						
					区内非行件数増加(減少)率										
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか															
協議会構成団体の共通認識ができ、区としての青少年健全育成への取り組み方針の合意ができる。															
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
						計画	実績	計画	年度						
指標		活動指標		回		2		4		3		3			
		活動指標													
		成果指標		件		711				555					
		成果指標		%		100				71					
総事業費・コスト把握		事業費		千円		4,034		2,385				2,077			
		職員数(正規 非常勤)		人		0.30		0.50		0.55		0.50		特記事項 10年度実績の事業費は、5年毎の青少年実態調査の委託料2677500円が含まれる。	
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		2,711		4,519		4,971			4,519
				非常勤職員分		千円		0		0		0			0
		総事業費		千円		6,745		6,904		4,971		6,596			
		単位あたりコスト		千円		3,373		1,726		1,657		2,199			
		財源		受益者負担分		千円									
				その他特定財源		千円									
差引:一般財源				千円		6,745		6,904		4,971		6,596			
受益者負担比率		%													
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		昭和30年に杉並区は正式な区長の附属機関として青少年問題協議会を設置した。青少年の犯罪は、戦後3回のピークがあり、今は第4回のピークといわれ、青少年の犯罪が目立っている。青少年健全育成を目指す取り組みは、引き続き必要である。											
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		自動販売機のうち青少年に有害な図書、ビデオを販売しているものがある。その対応を求められる。											
		今後の予測		情報化が一層進み、青少年を取り巻く環境も有害情報の氾濫など悪影響が予測され、新たな対応が必要となる。											

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		「青少年健全育成運動」推進活動				整理番号	438		
所属名	女性・児童部女性・青少年課青少年係	コード	130401		上位施策名(コード)				
予算事務事業名					*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
青少年育成		コード	40250						
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成 7 年度		根拠法令等					
	事業終期	● 無 ○ 有 平成 年度		□ 実施計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内の小学4年生及び、中学1年生		児童の権利に関する条約					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	子どもの権利条約の周知を目的とした冊子に関係者を交えて、作成・配布する。		活動指標名					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	これらの冊子を通して、子どもたちが日々の生活の中で、権利を行使できる環境づくりの契機となる。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								中学1年生用小冊子の配布数 小学4年生用小冊子の配布数	
青少年の健全育成								中学1年生用小冊子を読んで子どもの権利条約について理解を深めた人 / 配布数  小学4年生用小冊子を読んで子どもの権利条約について理解を深めた人 / 配布数	
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		部	3,000	3,000	2,700	3,360		
	活動指標		部	3,700	3,200	3,200	4,000		
	成果指標		%						
	成果指標		%						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,169	2,743	2,210	1,375		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	1.00	1.04	1.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,038	9,038	9,400	9,038		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	12,207	11,781	11,610	10,413		
	単位あたりコスト		千円	4	4	4	3		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引:一般財源		千円	12,207	11,781	11,610	10,413			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		作成当初は権利条約の紹介をメインに作っていたが、平成11年度中学生向けの冊子作成では、社会教育主事、専門家の方々に編集会議を設け、社会教育センターで行われた子どもの権利セミナーでの子どもたちの意見も取り入れ、実践的でよりわかりやすい冊子を作成した。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		平成11年度作成した中学1年生向けの冊子に対して「とても素晴らしいものができて、子どもだけでなく、ぜひ大人にも読んでほしい。私も多くの人に読んでもらえるよう呼びかけます。」という電話を区民の方からいただいた。また、子どもたちからも冊子についてはがきで感想・権利に関する相談をいただいた。						
	今後の予測		子どもがより理解できるような冊子をつくるため、今年度は小学4年生向けの冊子を児童館職員の方々の協力を得て作成する予定。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		育成活動				整理番号		439			
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		杉並区青少年育成委員会活動助成		コード		40250		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 31 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区青少年育英委員会補助金交付要綱				杉並区青少年育英委員会規約(基準)	
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	17青少年育成委員会										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			各育成委員会からの申請を審査し、活動費の一部として補助金を支払い、活動の側面的な支援を行う。補助金額は、活動運営費と事業費に分け活動の実態に即したものにしている。		活動指標名				事業への参加者数 事業数	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			活動費用の一部を補助することで、青少年の健全育成の活動支援策になっている。		成果指標名				過去3年間の平均的な参加者数に対する該当年度参加者数の割合  過去3年間の平均的な事業数に対する該当年度事業実施の割合		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
青少年育成事業に多くの地域住民・青少年が参加し、交流が深まり地域の活性化の役割を果たしている。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標										
	活動指標										
	成果指標		%	95	100	88	100				
	成果指標		%	101	100	108	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,860	17,643	17,604	15,680		100.0		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	0.00	1.25	0.00	1.25	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,038	11,298	11,478	11,298			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	29,898	28,941	29,082	26,978				
	単位あたりコスト		千円								
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			
		差引:一般財源		千円	29,898	28,941	29,082	26,978			
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			昭和31年に青少年の健全育成を図る目的で「青少年対策地区委員会」が設置された。昭和53年に、従来の地区委員会から青少年育成委員会への名称変更、役割の再確認、委嘱制度などについて改正された。青少年を取り巻く環境は少子化の進行、インターネットの普及などメディア情報の拡大などにより、青少年の価値観や行動形態の多様化が見られる。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			育成委員会としては、補助金の減額により、既存事業などの見直しをせざるを得なくなった。							
	今後の予測			平成13年度から事務局を担っている出張所が廃止となり、育成委員会の自主的運営が求められている。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人祝賀		整理番号		440			
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		青少年育成		コード		40250			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 25 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		「成人祝賀のつどい」実施要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
			該当年度に20歳を迎える区民						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		「成人祝賀のつどい」実行委員会で事業内容を企画・運営する。		活動指標名				
				実行委員会開催回数 出席者数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成人になったことを祝い励ますと共に、成人としての自覚を促す。		成果指標名					
				出席者数 / 対象者数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
新成人が成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうという希望を持つ。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		回		10	10	10		
	活動指標		人	2,584	2,600	2,385	2,320		
	成果指標		%	34	35	34	34		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,766	5,993	4,938	3,980		
	職員数(正規   非常勤)		人	1.00	1.25	1.36	1.25	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,038	11,298	12,292		11,298
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	14,804	17,291	17,230	15,278		
	単位あたりコスト		千円		1,729	1,723	1,528		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引: 一般財源		千円	14,804	17,291	17,230	15,278			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		青年の成人式の捉え方が「厳粛なセレモニー」から「同窓会、節目に催されるイベント」へ変化してきている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		有名芸能人によるコンサートや講演会の実施を希望。会場が狭い等(当日のアンケートより)。						
	今後の予測		同窓会のような雰囲気を求められているなかで、その要望にどう対応していくか、また、杉並公会堂の改築に伴い、会場をどうするのかを検討しなくてはいけない。これによって予算も変わってくる可能性はある。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		洋上セミナー				整理番号		441				
所属名		女性・児童部女性・青少年課青少年係		コード		130401		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		青少年育成		コード		40250		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成    55 年度		根拠法令等							
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有    平成    年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 東京都青少年洋上セミナー実施要綱							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		都の洋上セミナーに参加した区内在住の高校生							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		都主催の洋上セミナーに区から高校生を推薦し、セミナー参加者と青少年委員を交えて交流会を開催することで社会活動参加のきっかけを作る。		活動指標名 洋上セミナー交流会開催数 洋上セミナー交流会参加者数							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		洋上セミナーに参加して団体生活を経験し、異文化に触れることで相互理解と友好親善を深め、国際的視野を広げた青少年を対象とした事業であり、この事業に参加した青少年が、地域の活動に積極的に参加参画する機会を醸成する。		成果指標名 地域活動に参加した人数 / 洋上セミナー参加者数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 青少年が、区の事業や地域の活動に積極的に参加し、また、区や地域の活動にも青少年の意見を取り入れることができる。												
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	年度				
指標		活動指標	回	1	2	2	1					
		活動指標	人(延)	14	82	35	10					
		成果指標	%									
		成果指標										
総事業費・コスト把握		事業費	千円	25	77	72	47					
		職員数(正規 非常勤)	人	0.03	0.00	0.03	0.00	0.04	0.00	0.03	0.00	特記事項
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	271	271	362	271				
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
		総事業費	千円	296	348	434	318					
		単位あたりコスト	千円	296	174	217	318					
		財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0				
			その他特定財源	千円	0	0	0	0				
			差引:一般財源	千円	296	348	434	318				
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		都の洋上セミナーは、近年の財政難のため、平成10年度から隔年の開催になっている。								
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
		今後の予測		都の洋上セミナー事業の実施は、今後財政難等の事情で継続することが難しくなってくると思われるが、青少年の健全育成と社会参画はますます重要になると見込まれる。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 ボーイスカウト・ガールスカウト開催分担金 整理番号 442

所属名 女性・児童部女性・青少年課青少年係 コード 130401 上位施策名(コード)  
 予算事務事業名 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する  
 青少年育成 コード 40250

事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <span style="margin-left: 10px;">57</span> 年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <span style="margin-left: 10px;">平成</span> 年度	杉並区後援名義等の使用承認事務取扱要綱
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	
	日本ボーイスカウト東京連盟杉並地区 ガールスカウト東京都支部杉並地区	
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	活動指標名	
区内で行われている「歌、ゲームとマスコット作りのつどい」の事業に対して共催・後援名義の使用を承認し、予算の範囲内で分担金を支出する。	共催後援回数 事業開催数	
意図（対象をどのような状態にしたいのか）	成果指標名	
活動費用の一部を補助することで、青少年の健全育成の活動を支援する。	(代)参加者数	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか  
 青少年の健全育成、活動を通して子どもたちの人や環境への思いやりの心が育まれる。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標	回	4	3	3			
	活動指標	回	4	3	3			
	成果指標	人	484	380	303			
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費	千円	770	370	370	314	特記事項 平成10年度は4年に1度行われる「日本ジャンボリー」の分担金が含まれる。(単年度)	
	職員数(正規 非常勤)	人	0.02	0.02	0.02	0.02		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	181	181	181		
		非常勤職員分	千円	0	0	0		
		総事業費	千円	951	551	551		495
		単位あたりコスト	千円	238	184	184		165
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
差引：一般財源		千円	951	551	551	495		
	受益者負担比率	%						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	女性・青少年課でまとめた「次代を担う青少年の育成に向けて」の中で、地域の育成機能の充実、地域に根差した子育て支援を行う必要性を挙げており、今後さらにこのような団体の活動が重要とされてくるので、支援していくべきと考えている。

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 浜田山第二学童クラブ設置 整理番号 383

所属名 児童青少年センター管理係 コード 130731 上位施策名(コード)

予算事務事業名 少子化対策特例交付金事業 コード 37700 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する

<p>事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度</p> <p>事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度</p> <p>対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>浜田山小学校在学及び同校学区内在住の小学一年生から四年生までの児童と六年生までの障害児</p> <p>活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)</p> <p>浜田山小学校内余裕教室を利用した、浜田山第二学童クラブの設置。</p> <p>意図 (対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>浜田山第二学童クラブを設置することで、浜田山学童クラブ(定員50人)における毎年20人前後の学童クラブ待機児童の解消を図る。</p>	<p>根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業</p> <p>児童福祉法第6条</p> <p>杉並区立児童青少年センター及び児童館条例</p> <p>活動指標名</p> <p>浜田山第二学童クラブの設置</p> <p>成果指標名</p> <p>浜田山学童クラブの待機児童数</p> <p>浜田山第二学童クラブの入会者数</p>
---	--

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか

学童クラブの入会を希望する世帯において、保護者が安心して働ける環境を提供するとともに、児童の健全育成に貢献する。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%
			計画	実績	計画	12年度		
指標	活動指標	箇所		1	1		1	100.0
	活動指標							
	成果指標	人		0	20	0	0	0.0
	成果指標	人				28	45	57.8
総事業費・コスト把握	事業費	千円		30,865	29,820			
	職員数(正規 非常勤)	人		0.20	0.20			特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,808	1,808	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	0	32,673	31,628	0	
	単位あたりコスト		千円		32,673	31,628		
	財源	受益者負担分	千円		0	0		
		その他特定財源	千円		29,817	29,817		
		差引:一般財源	千円	0	2,856	1,811	0	
	受益者負担比率		%		0.0	0.0		

<p>開始当初から現在までの変化</p> <p>事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)</p> <p>今後の予測</p>	<p>浜田山第二学童クラブを設置し、浜田山学童クラブの慢性的な待機児童の解消を図ることで、住民の要望に応えることができた。</p> <p>学校自由選択性の採用や地域環境の変化等により、浜田山小学校入学希望者の増加が予測される。そのため、ますます浜田山学童クラブ、同第二学童クラブへの入会希望者の増加が予測できる。</p>
---	--

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター施設維持管理及び運営				整理番号		402									
所属名		女性・児童部児童青少年センター管理係		コード		130731		上位施策名(コード)									
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等												
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行 杉並区立児童青少年センター及び児童館処務規定												
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童青少年センターの建物、センター利用者(主に中高校生)、センター及び児童館職員、地域住民の団体														
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		センターの維持管理及び運営。センター及び41児童館の職員研修、物品の貸出し、事故対応。		活動指標名 利用者数 運営日数												
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		センターを、快適に利用できる施設とする。センターの運営に、中高校生の意見等を反映させる。センター及び41児童館職員の専門知識を深める。事業に必要な物品を効率的に貸し出す。		成果指標名 施設不備・不具合件数												
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか																	
子どもがのびのびと育つ環境を提供している。子どもの権利条約の主旨を生かしている施設として、各方面から注目を集め、全国的にも高い評価を受けている。																	
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値		目標値に対する11年度の達成率%					
						計画		実績		計画				13年度			
指標	活動指標		人		68,069		99,900		68,278		99,600		99,600		68.6		
	活動指標		日		358		359		359		358		358		100.0		
	成果指標		件		18		23		23		6		10		43.8		
	成果指標																
総事業費・コスト把握	事業費		千円		50,066		48,189		46,128		39,510		39,510				
	職員数(正規 非常勤)		人		10.29   0.00		10.09   0.00		9.67   0.00		10.40   0.00		特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円		93,001		91,193		87,397		93,995					
		非常勤職員分		千円		0		0		0		0					
	総事業費		千円		143,067		139,382		133,525		133,505						
	単位あたりコスト		千円		2		1		2		1						
	財源	受益者負担分		千円		72		33		61		33					
		その他特定財源		千円		0		0		0		0					
		差引:一般財源		千円		142,995		139,349		133,464		133,472					
	受益者負担比率		%		0.1		0.0		0.0		0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		全国的に先駆けて、中高生のための児童館として竣工した。地域の児童健全育成の拠点として、事業を展開し、区民からも認知されている。杉並区の13～18歳人口平成9年 26,085人、平成10年 25,218人、平成11年 24,450人、平成12年 24,206人。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		事業開始時から、TV、新聞、関係機関からの視察・問合せが、相次いでおり、各方面から、注目されている。														
	今後の予測		施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて、修繕費が増える。運営についても、中高生の居場所を確保することが重要な役割を担う。														

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボランティア活動運営				整理番号		403							
所属名		女性・児童部児童青少年センター子育て推進 コード		130734		上位施策名(コード)									
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420									
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する													
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行					杉並区立児童青少年センター及び児童館ボランティア登録					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		児童館のボランティアとしている活動している個人、団体、及び、今後活動を希望する区民。										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		全児童館のボランティアを、統一書式により登録し、把握する。有料の講師により、実技講座3回、障害児のサポート講座2回を、開催する。		活動指標名					ボランティア登録者数 ボランティア講座受講者数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		登録制度により、区民が、継続的に、ボランティア活動をしやすくする。また、講座を実施することにより、まだ、参加したことのない区民を、実際の活動につなげる。とりわけ、障害児の余暇活動を支えるボランティアの人数を増やす。		成果指標名					ボランティア講座受講後、ボランティア活動をした人数  活動者率 = 活動者数 ÷ 講座受講者数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか															
ボランティアの活用により、児童館事業の充実、多様化が図れ、地域の子どもの文化や生活が広がり、豊かになる。障害児が、児童館事業に参加しやすくなり、健常児との交流が図れる。															
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%					
					計画	実績	計画	15年度							
指標	活動指標		人		1,108		1,100		1,116		1,100		101.5		
	活動指標		人		136		130		144		120		120.0		
	成果指標		人		12		15		17		20		85.0		
	成果指標		%		9		12		12		13		70.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		309		278		208		167		167		
	職員数(正規 非常勤)		人		0.15   0.10		0.15   0.10		0.15   0.10		0.45   0.10		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円		1,356		1,356		1,356		4,067			
		非常勤職員分		千円		312		312		312		312			
	総事業費		千円		1,976		1,945		1,875		4,546				
	単位あたりコスト		千円		2		2		2		4				
	財源	受益者負担分		千円		0		0		0		0			
		その他特定財源		千円		0		0		0		0			
		差引：一般財源		千円		1,976		1,945		1,875		4,546			
	受益者負担比率		%		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ボランティア登録者数 平成9年度865人、平成11年度 1,116人。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		ボランティア講座を受講して、子ども達に教えたい。人の役に立ちたい。講座回数を増やしてほしい。												
	今後の予測		地域での子育てを推進するために、地域の人材活用を促進する必要がある。特に、子育ての経験である高齢者を、ボランティアの担い手となるよう進めていく。なお、高齢者の生きがい対策の観点からも重要なことである。												



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ニュースポーツ大会等運営				整理番号		405			
所属名		女性・児童部児童青少年センター事業係		コード		130733		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業					
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行規							
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 センター及び児童館の利用者。センター及び児童館の職員。		杉並区児童青少年センター及び児童館事業運営要綱							
事務事業の概要	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名							
	ニュースポーツの推進として、平成9年度～平成11年度の3年間、スポーツチャンバラの普及を図った。用具を配備し、講習会を開催した。			講習会開催回数							
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名							
スポーツチャンバラのルールを体得し、日常活動の中で、スポーツ遊びとして定着させる。			講習会参加者人数								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
ニュースポーツを取り入れることで、スポーツ系遊びの充実を図り、児童の健全育成に貢献する。											
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
					計画		実績		計画	年度	
指標	活動指標	回	26		35		19		0		
	活動指標										
	成果指標	人	416		525		374		0		
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	564		645		580		0		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.58	0.00	0.58	0.00	0.53	0.00	0.00	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,242		5,242		4,790		0	
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0	
	総事業費	千円	5,806		5,887		5,370		0		
	単位あたりコスト	千円	223		168		283		#DIV/0!		
	財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0	
		その他特定財源	千円	0		0		0		0	
		差引:一般財源	千円	5,806		5,887		5,370		0	
	受益者負担比率	%	0.0		0.0		0.0		#DIV/0!		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度～平成11年度の3年間、ニュースポーツとして、スポーツチャンバラの普及を図った。平成12年度は、児童館合同でスポーツチャンバラ大会を実施するには、普及が充分でないと判断し、大会そのものは休止し、日常活動に取り入れ、定着を図っている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		スポーツチャンバラを日常取り組んでほしい。やりたい時にすぐ手軽にできる用具が揃っていない。								
	今後の予測		スポーツチャンバラに限らず、日常活動に取り入れていくことで、子ども達が手軽に楽しめる新しいスポーツ遊びとして、全児童館に広まっていくと予想される。また、普及するにつれて、児童館合同での交流試合の実施や、そのための用具の確保が必要となる。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童青少年センター事業				整理番号		406				
所属名		女性・児童部児童青少年センター事業係		コード		130733		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第1～4、7、35、40条 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		活動指標名		講習会開催回数 自主企画実施回数						
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住、在学の中高校生。		活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		中高校生の自主的、主体的な自己実現を進めるプログラムを実施する。中高校生が主体となって、事業の企画・運営を行う。						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		中高校生の自主的余暇活動を支援し、交流の場を提供する。また、事業の企画・準備・運営を通して、中高校生の主体性や自主性を育てる。		成果指標名		(代)講習会参加者人数  (代)自主企画参加者人数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		中高生の自主性、主体性を育てることで、中高生の健全育成に貢献している。										
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
					計画	実績	計画	13年度				
指標		活動指標	回		299	388	388	380	385	100.8		
		活動指標	回		10	5	5	5	5	100.0		
		成果指標	数		3,486	3,000	2,640	2,700	2,700	97.7		
		成果指標	数		851	1,000	1,495	1,000	1,000	149.5		
総事業費・コスト把握		事業費	千円		4,613		5,532		5,485	4,782	4,782	
		職員数(正規 非常勤)	人		9.34	7.00	9.34	7.00	9.13	7.00	10.85	7.00
		人件費	千円		84,415		84,415		82,517	98,062	特記事項	
		職員分(超勤分含む)	千円		21,812		21,812		21,812	21,812		
		非常勤職員分	千円		110,840		111,759		109,814	124,656		
		総事業費	千円		371		288		283	328		
		単位あたりコスト	千円		0		0		0	0		
		財源	千円		0		0		0	0		
		その他特定財源	千円		110,840		111,759		109,814	124,656		
		差引:一般財源	千円		0.0		0.0		0.0	0.0		
		受益者負担比率	%		0.0		0.0		0.0	0.0		
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		杉並区の13～18歳人口 昭和61年 39,815人、平成9年 26,085人、平成10年 25,218人、平成11年 24,450人、平成12年 24,206人。センター利用者数 平成9年度 44,387人、平成10年度 68,096人、平成11年度 68,278人。								
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		バンドやスポーツ等好きな活動ができる。自由に時間が過ごせる。サポートをしてくれる大人がいていい。人には言えないことも気軽に相談できた。中高生のボランティア活動も進めてほしい。中高生が自主的に行える事業があるので、やりがいがある。								
		今後の予測		中高生の要望が多様化する。中高生の区内での活動拠点として、自己実現を図る場所として、ますます重要な役割を担うと予測される。								



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども家庭支援センター事業				整理番号		408				
所属名		女性・児童部児童青少年センター子育て推進 コード		130734		上位施策名(コード)						
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		児童福祉法第1～4、7、35、40、45条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同条例施行							
	相談希望の子ども(小学生～高校生)及び大人、親の入院等により子どもを預けたい世帯、区内の児童福祉に関わる民間団体及び行政機関		杉並区子ども家庭支援センター事業実施要綱									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		子どもと家庭に関するあらゆる相談を、子ども自身と大人から受ける。必要に応じて、サービスの調整を行う。		活動指標名 PR件数							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		あらゆる家庭の身近で気軽な相談窓口として、活用し、安心して、子育てができる。とりわけ、子ども自身がどんなことでも、相談できる窓口として対応する。		成果指標名 (代)相談件数  (代)子どもショートステイ利用日数								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 子どもの悩みに応えるとともに、子育て支援の充実を図ることができる。												
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	17年度				
指標	活動指標		枚	83,120		78,000	105,200		72,500	100,000	105.2	
	成果指標		件	477		490	729		720	800	91.1	
	成果指標		日	373		400	324		400	380	85.3	
	成果指標		日	373		400	324		400	380	85.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,027		6,624	6,710		6,284	10,048	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	1.40	0.40	1.40	0.40	1.40	0.40	1.30		0.40
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,653		12,653	12,653		11,749		
		非常勤職員分		千円	1,246		1,246	1,246		1,246		
	総事業費		千円	20,927		20,524	20,610		19,280			
	単位あたりコスト		千円	0		0	0		0			
	財源	受益者負担分		千円	0		0	0		0		
		その他特定財源		千円	9,630		9,200	9,862		9,700		
		差引:一般財源		千円	11,297		11,324	10,748		9,580		
	受益者負担比率		%	0.0		0.0	0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区内の0～17歳の児童 平成9年度 65,550人、平成11年度 63,017人。杉並児童相談所で受けた杉並区分の相談件数 平成9年度596件(虐待25件)、平成11年度626件(虐待35件)。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		相談して気持ちが楽になった。子どもの気持ちや考えを聞いてみる大切さがわかった。病気や出産時、子どもショートステイがあつて助かった。									
	今後の予測		0～17歳人口の減少。虐待の増加。不登校児童の増加。精神不安定な親の増加。									

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		青少年社会参加活動推進事業				整理番号		411					
所属名		女性・児童部児童青少年センター管理係		コード		130731		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 児童福祉法第1～4、7、35、40条 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則 年長児童育成の街試行事業実施要綱							
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		活動指標名		事業実施回数							
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学中・高校生。		活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		中高生の自主的・主体的力量を高めるために、調査・研究・合宿・発表の場の設定などを行う。		意図(対象をどのような状態にしたいのか) 中高生が自己実現を図り、主体的参加の中で自らを高め、学び、もって中高生の意図を現していけるようにする。					
事業概要				成果指標名		(代)事業参加者数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 中高生の主体な活動が活発化するにつれ、青少年の社会参加が一層進展することになる。													
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
					計画		実績		13年度				
指標	活動指標	回	0		12		12		10	10	120.0		
	成果指標	数	0		341		341		340	340	100.3		
	活動指標												
	成果指標												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0		10,000		7,322		3,139		3,139		
	職員数(正規 非常勤)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.55	0.00	0.55	0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0		0		4,971		4,971			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0			
		総事業費	千円	0		10,000		12,293		8,110			
		単位あたりコスト	千円	#DIV/0!		833		1,024		811			
		財源	受益者負担分	千円	0		0		0			0	
			その他特定財源	千円	0		10,000		10,000			0	
			差引:一般財源	千円	0		0		2,293			8,110	
			受益者負担比率	%	#DIV/0!		0.0		0.0			0.0	
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		厚生省の年長児童育成の街試行事業として、実施されたもので2年目である。中高生委員会中心の活動から、子ども委員会の活動にまで広げて実施している。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区内の中・高校生が参加できるような事業を考えてほしい。中・高校生ならではの企画とアイデアを出してやってほしい。										
	今後の予測		3年間の試行事業であり、区内の中高生がより自主的に活動できる企画を考えていく。										

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号		412						
所属名		女性・児童部児童青少年センター管理係		コード		130731		上位施策名(コード)						
予算事務事業名		児童青少年センター運営		コード		39420		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 1 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業								
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区都市交流実施要綱										
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内在住・在学の小学4年～6年生(吾妻30名、風連夏25名) 中学生25名(風連冬)		活動指標名										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		友好都市の児童と共に、班ごとに活動、東京探検、しばれ体験等の事業を実施する。		参加者人数										
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		交流都市の文化・生活・風土等を知り、子ども同士の友好交流を深める。		成果指標名										
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		吾妻町・風連町の交流を、子どもの面から図っている。結果として、大学生・大人になってからも各自治体への事業参加などで交流がつながり、実を結んでいる。		応募者人数										
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
					計画		実績		13年度					
指標		活動指標	人	84		85		85		80	80	100.0		
		活動指標												
		成果指標	人	152		0		148		0		0		
		成果指標												
総事業費・コスト把握		事業費	千円	5,925		6,515		5,832		5,462		5,462		
		職員数(正規 非常勤)	人	1.80   0.00		1.80   0.00		1.79   0.00		1.75   0.00		特記事項		
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	16,268		16,268		16,178		15,817			
			非常勤職員分	千円	0		0		0		0			
		総事業費	千円	22,193		22,783		22,010		21,279				
		単位あたりコスト	千円	264		268		259		266				
		財源	受益者負担分	千円	0		0		0		0			
			その他特定財源	千円	0		0		0		0			
			差引:一般財源	千円	22,193		22,783		22,010		21,279			
		受益者負担比率	%	0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		応募者人数 平成10年度 152人、平成11年度 148人。										
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		参加した児童の保護者からは、多くの友達ができ、友好交流関係が深まった、プログラムも充実したもので良かった、との評価を得ている。また、これからも交流を続けてほしいとの要望もある。										
		今後の予測		交流に参加した子どもが、大人になってからボランティアとして参加したり、あるいは、事業への協力等継続した交流が見られ、今までより交流が促進される。										

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館施設維持管理及び運営				整理番号		413	
所属名		女性・児童部児童青少年センター管理係		コード		130731		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		児童館運営		コード		39600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 41 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法35条、40条		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例		杉並区立児童青少年センター及び児童館庶務規定	
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童館及び学童クラブ 18歳未満の児童及び保護者		活動指標名		設置児童館数		児童館年間延べ利用者数	
事務事業の概要		活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		施設維持管理における契約手続き、履行確認、支払事務。 施設運営における事務用経費の執行事務		成果指標名		施設不備・不具合件数	
		意図(対象をどのような状態にしたいのか)		児童の健全育成を実現させる観点から、適切な維持管理等により、施設の有効利用と耐用年数の向上を図り、区民が安心して利用できる施設とする。		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		児童の健全育成に貢献するとともに健全な地域社会の形成に寄与する。	
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 13年度	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画	実績					
指標	活動指標	館	41	41	41	41	100.0		
	活動指標	人	1,051,474	1,167,000	1,006,108	1,167,000	86.2		
	成果指標	件	186	177	177	100	56.5		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	303,487	320,716	306,942	268,653	268,653	118.1
	職員数(正規 非常勤)		人	##### 38.50	##### 38.50	##### 38.50	##### 39.20	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	988,757	988,757	981,617	994,180		
		非常勤職員分	千円	119,966	119,966	119,966	122,147		
	総事業費		千円	1,412,210	1,429,439	1,408,525	1,384,980		
	単位あたりコスト		千円	34,444	34,864	34,354	33,780		
	財源	受益者負担分	千円	11	73	8	74		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0		
		差引:一般財源	千円	1,412,199	1,429,366	1,408,517	1,384,906		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		児童館設置数:昭和45年=9館、昭和55年=29館、平成2年=40館、平成11年41館(各年12月31日現在)						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		施設の老朽化により、設備(空調、配管、便器等)が不十分な館が少なくない現状、外壁の汚れ、屋上防水の未整備による漏水、床・内壁のはがれといった区民の指摘が多く聞かれる。						
	今後の予測		維持管理については、順次古い館より建替えまたは大規模修繕が必要となる時期が逼迫していると思われる。また、電子複写機について、購入後10年程度経過しているため、保守等に係る部品・消耗品の供給が停止する時期にきている。そのため買い換え又はリースによる入れ替えが必要となる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館事業				整理番号		414									
所属名		女性・児童部児童青少年センター管理係		コード		130731		上位施策名(コード)									
予算事務事業名		児童館運営		コード		39600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 41 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業											
事業終了期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法 35 条、40 条		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例		杉並区立児童青少年センター及び児童館庶務規定									
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 18歳未満の児童及び保護者		活動指標名		年間行事実施回数		児童館利用者数									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		自由利用、定例活動(工作・調理等)、小型特別行事(観劇会・遠足等)、大型特別行事(まつり・キャンプ等)、子育てネットワーク事業・幼児グループ等による子育て支援活動		成果指標名		児童館利用率											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		児童の健全育成を目的として、学校・家庭では得られない人とのふれあい、友人との出会いなど、児童館事業をおして児童の自主性・創造性を養う。また、児童を取り巻く問題に対応すべく、普及・啓発、相談業務を充実させ、安心して子育てができる環境を整備する。		意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		児童の健全育成に貢献するとともに健全な地域社会の形成に寄与する。											
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値		目標値に対する11年度の達成率%					
						計画		実績		計画		13 年度					
指標		活動指標		回		14,430		13,767		13,767		13,284		12,842		100.0	
		活動指標		人		1,051,474		1,167,000		1,006,108		1,167,000		1,167,000		86.2	
		成果指標		率		15				14		15		15		93.3	
		成果指標															
総事業費・コスト把握		事業費		千円		30,892		34,204		27,421		30,174		28,666		104.5	
		職員数(正規 非常勤)		人		44.97   16.50		44.97   16.50		44.64   16.50		45.20   16.80		特記事項			
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		406,439		406,439		403,456				408,518	
				非常勤職員分		千円		51,414		51,414		51,414				52,349	
		総事業費		千円		488,745		492,057		482,291		491,040					
		単位あたりコスト		千円		34		36		35		37					
		財源		受益者負担分		千円		0		0		0				0	
				その他特定財源		千円		4,592		0		1,750				0	
				差引：一般財源		千円		484,153		492,057		480,541				491,040	
		受益者負担比率		%		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		児童館設置数：昭和45年＝9館、昭和55年＝29館、平成2年＝40館、平成11年＝41館(各年12月31日現在) 18歳未満児童数：昭和61年＝98,222人、平成2年＝84,706、平成7年＝69,662、平成12年＝62,023(各年1月1日現在)													
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		既存事業のなかで、幼児活動及び子育て相談をはじめとする子育て支援事業、いじめ・不登校など子ども自身が抱えている問題に対する相談、中高生事業や調理・スポーツ活動など子ども主体の行事など時代の変化に対応した事業に対する高い評価を得ている。また、保護者や地域の方々からの要望として、今後更に地域における役割、子育て支援の拠点としての充実が求められている。													
		今後の予測		子育て、虐待、いじめなど子どもを取り巻く問題を的確に捉え、相談業務の拡充、相談に対するケア等の確立が必要である。また、児童の健全育成の観点から、各種行事を通して児童一人一人の自主性・自立性を育てるための指導が必要となる。													

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		母親クラブ活動助成費				整理番号		415									
所属名		女性・児童部児童青少年センター子育て推進 コード		130734		上位施策名(コード)											
予算事務事業名		児童館運営		コード		39600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する									
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 52 年度		根拠法令等												
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 厚生省通達「国庫補助による地域組織活動要綱」 杉並区母親クラブ運営基準 杉並区母親クラブ活動費補助要綱												
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内の住民、近隣地域を単位に30人以上の母親で構成され、児童館と有機的連携を持つ団体。														
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		児童を含めた世代間交流事業、子育ての研修活動及び児童の安全を守る活動等。役員会が基本的な運営を行い、事業ごとに担当者が地域協力者、児童館職員等と連携して実施。		活動指標名 活動助成団体数												
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		600人を越える母親クラブ会員が行う地域の健全育成活動を財政的に支援し、事業への参加児童数と地域活動の重要性を理解する大人を増やす。また、母親クラブと学校、PTA、育成委員会等との交流を進め、他団体と連携した地域活動を進める。		成果指標名 (代)母親クラブ主催事業参加者数													
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		地域の子どもに多彩な事業を体験させ、児童の健全育成活動を推進した。															
区分		単位		10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%						
						計画	実績	計画	15年度								
指標		活動指標		団体数		23		23		21		21		18		116.7	
		成果指標		人		44,919		45,000		46,239		41,800		39,600		116.8	
		活動指標															
		成果指標															
総事業費・コスト把握		事業費		千円		5,060		5,060		4,600		1,000		1,250		特記事項	
		職員数(正規 非常勤)		人		0.80   0.50		0.80   0.50		0.79   0.50		0.55   0.50					
		人件費		職員分(超勤分含む)		千円		7,230		7,230		7,140		4,971			
				非常勤職員分		千円		1,558		1,558		1,558		1,558			
		総事業費		千円		13,848		13,848		13,298		7,529					
		単位あたりコスト		千円		602		602		633		359					
		財源		受益者負担分		千円		0		0		0		0			
				その他特定財源		千円		2,713		2,713		2,466		0			
				差引:一般財源		千円		11,135		11,135		10,832		7,529			
		受益者負担比率		%		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		母親クラブ数 昭和52年度 8団体、平成9年度 24団体、平成11年度 21団体。 母親クラブ助成金額 昭和61年度 125,000円、昭和62年度 155,000円、平成6年度 185,000円、平成12年度 30,000円。													
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		平成12年度は、助成金の減額で、母親クラブ活動の存続が危うくなった。地域子育てネットワーク事業に、母親クラブも参加したい。													
		今後の予測		地域の子育てに対する意識の低下から、今後ますます地域子育ての中心的役割を果たす母親クラブの重要度は、増してくると思われる。													

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ施設維持管理及び運営				整理番号	416		
所属名		女性・児童部児童青少年センター		コード	130731		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		学童クラブ運営		コード	39800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第6条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		共働き等により留守家庭となる児童に日常活動を通じ、集団生活の中で自主性・協調性を促すよう、援助指導を行う。また、障害児の巡回指導を行う。		杉並区学童クラブ事業運営要綱				
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		共働き等により留守家庭となる児童に対し、下校後の保育の場を提供し、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。		活動指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		保護者が安心して働くことのできる環境を提供するとともに児童の健全育成を図ることができる。		成果指標名					
				入会児童数 障害児受入学童クラブ数					
				入会希望者の入会率 = 入会者数 ÷ 入会申請数  区立小学校生徒の入会率 = 入会者数 ÷ 区立学校小学1～4年生の生徒数					
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
			計画	実績					
指標	活動指標	人	1,937						
	活動指標	箇所	32	34	34	34	100.0		
	成果指標	%	95	100	93	100	93.0		
	成果指標	%	16		17				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	90,818	92,540	102,230	105,683	105,000	97.4
	職員数(正規 非常勤)		人	69.18   5.00	69.18   5.00	68.68   5.00	66.70   5.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	625,249	625,249	620,730	602,835		
		非常勤職員分	千円	15,580	15,580	15,580	15,580		
	総事業費		千円	731,647	733,369	738,540	724,098		
	単位あたりコスト		千円	378		372			
	財源	受益者負担分	千円				20,400		
		その他特定財源	千円						
差引:一般財源		千円	731,647	733,369	738,540	703,698			
受益者負担比率		%				2.8			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		学童クラブ入会者数 H8:1,759人、H9:1,870人、H10:1,937人、H11:1,983人。対象児童数の減少動向にもかかわらず、入会希望者数及び入会者数は、増加傾向にある。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		入会定員数の拡大、保育時間の延長、障害児受入枠(人数、中学生)の拡大及び学校への迎えをしてほしいという要望がある。						
	今後の予測		入会児童数は、共働き世帯などの増加により年々増加傾向にあり、5年後の平成16年度には、現在の定員2,310人では、賸りきれなくなる可能性がある。ただし、少子化傾向とあわせて予測した場合は、増加率が減少していくことも考えられる。平成13年度から17年度まで下井草第二学童クラブの建物・土地の賃貸借契約を更新し、施設の運営を継続する。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学童クラブ事業				整理番号		417				
所属名		女性・児童部児童青少年センター		コード		130731		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		学童クラブ運営		コード		39800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 39 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		児童福祉法第6条				杉並区立児童青少年センター及び児童館条例		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区学童クラブ事業運営要綱				杉並区学童クラブ事業運営要綱		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			運営においては、区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童と六年生までの障害児。		活動指標名				入会児童数 学童クラブの事業数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			共働き等により留守家庭となる児童に対し、下校後の保育の場を提供し、児童の安全確保、知識や経験等を深める機会をつくる。		成果指標名				学童クラブ出席率  事業参加人数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
保護者が安心して働くことのできる環境を提供するとともに児童の健全育成を図ることができる。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績				計画	12年度		
指標	活動指標		人	1,937	2,245	1,983	2,310	2,310	97.1			
	活動指標		事業	813	806	798	783	783	102.9			
	成果指標		%	72	90	79	90	90	87.8			
	成果指標		人	38,531	40,000	40,196	40,000	40,000	100.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	955	955	267	830	830	32.2			
	職員数(正規 非常勤)		人	28.99   1.00	28.99   1.00	28.79   1.00	28.10   1.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	262,012	262,012	260,204					253,968
		非常勤職員分		千円	3,116	3,116	3,116	3,116				
	総事業費		千円	266,083	266,083	263,587	257,914					
	単位あたりコスト		千円	137	119	133	112					
	財源	受益者負担分		千円								
		その他特定財源		千円								
差引:一般財源		千円	266,083	266,083	263,587	257,914						
受益者負担比率		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			学童クラブ入会者数 H8:1,759人、H9:1,870人、H10:1,937人、H11:1,983人。少子化にも関わらず、長引く不況や社会環境の変化により、共働き世帯や独り親世帯が増加し、学童クラブの需要は大きくなっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			遠足等、外遊びの機会や入会児童以外の児童との交流する機会など事業内容の質の向上を求める声と共に、保育時間の延長や、短期あるいは一時入会など、柔軟な対応を求める声も大きくなっている。								
	今後の予測			ひとり親世帯等、困難な家庭状況を抱える児童の増加により、個別的就業支援などの援助・指導が求められることが予測される。また、入会希望者数自体も女性の社会進出や離婚率の増加等により増えることが予測される。								



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改修		整理番号	443			
所属名	女性・児童部児童青少年センター管理係	コード	130731	上位施策名(コード)				
予算事務事業名				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
児童館改修		コード	40330					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度	根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他					
	高井戸西児童館							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名				
	耐震補強			耐震改修児童館数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名					
耐震補強			耐震改修児童館数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
施設の維持保全								
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績	計画	11 年度		
指標	活動指標	館	1	1	1	1	100.0	
	活動指標							
	成果指標	館	1	1	1	1	100.0	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	809	4,498	4,405	0	特記事項
	職員数(正規 非常勤)		人					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	809	4,498	4,405	0	
	単位あたりコスト		千円	809	4,498	4,405		
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
		差引:一般財源	千円	809	4,498	4,405	0	
受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)							
	今後の予測							